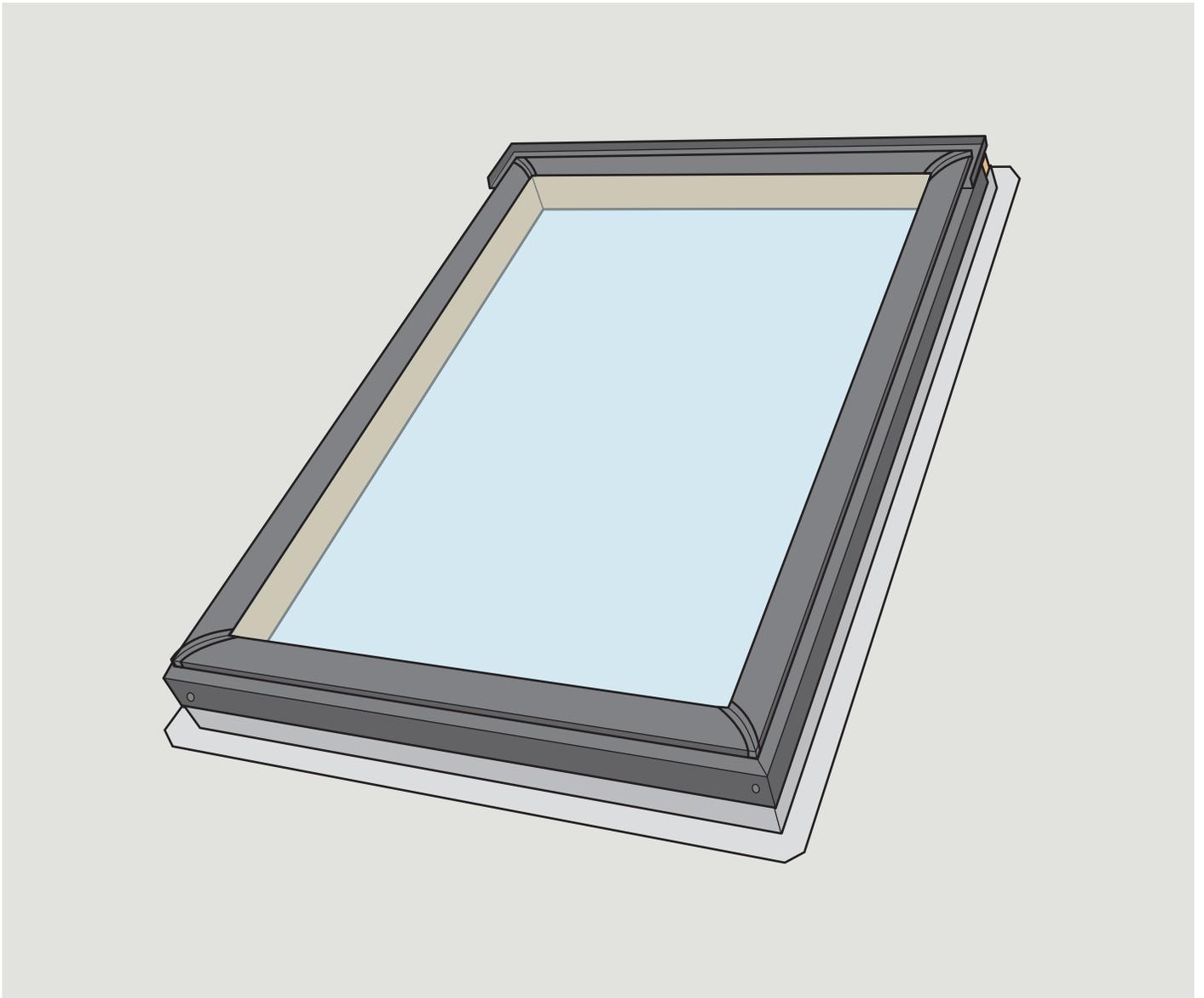


FS



## ベルックス FSタイプ 施工説明書



14°-85°

- 窓本体の取り付け及び取り合いは、この説明書に従って正しく施工して下さい。
- 取り付け可能勾配は14° (2.5寸)から85° の範囲内です。

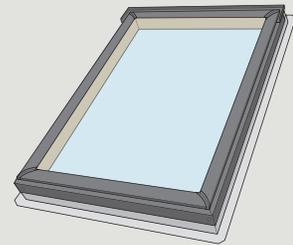




## 本体取り付け（工事店様用）

・4～7 ページ

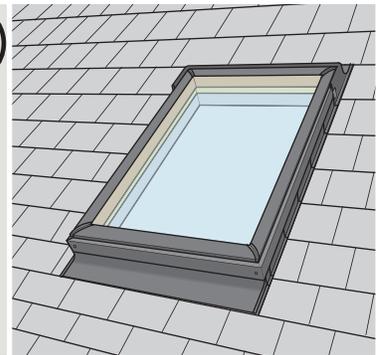
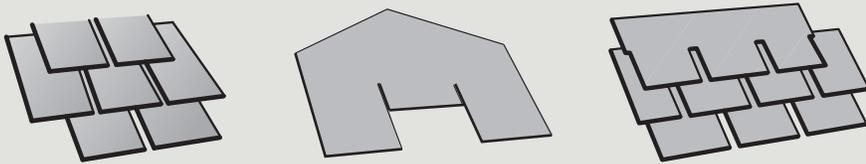
- ・施工にあたり、まず共通部分をご覧ください。
- ・次にご使用になる屋根材別のページに進んで下さい。



共通部分

## スレート用屋根工事（スレート工事店様用）

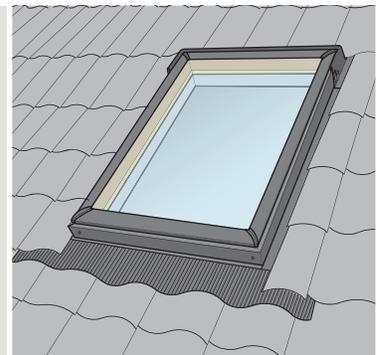
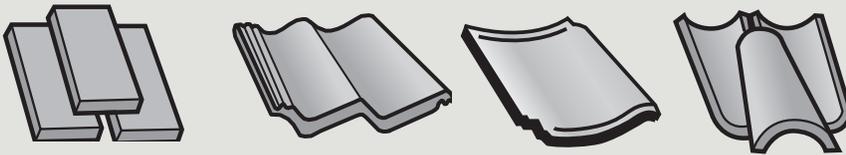
・8～13 ページ



スレート

## 瓦用屋根工事（瓦工事店様用）

・14～22 ページ



瓦

## 鋼板横葺き積雪地用屋根工事 （板金工事店様用）

・24～31 ページ



鋼板

次の工程のために、この説明書は大切に保管して下さい。

## 安全上、施工上の注意

この説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

**警告** この表示の項目は、死亡または重傷などを負う可能性が想定されます。

**注意** この表示の項目は、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

.....安全のための注意.....

◎けがや事故防止のため、以下のことをお守り下さい。

**▲ 警告** ●窓本体を屋根に運搬する作業は、2人以上またはクレーン車等で行って下さい。

●強風時、悪天候時の運搬、施工は行わないで下さい。

●屋根に施工する際、足場を設けて下さい。

●開口部には、墜落防止のための表示等を行って下さい。

**▲ 注意** ●商品は足場の良い所に置き、倒したり、投げたりしないで下さい。

●商品の上に乗らないで下さい。

●怪我や事故防止のため、適切な保護具や安全器具を使用して下さい。

●商品のねじ止め箇所は、すべて確実にねじ止めして下さい。

●ガラスの破損やひび割れを発見した場合は、放置せず、速やかに当社までご連絡下さい。

.....施工上の注意.....

◎施工がこの施工説明書に従っておらず、それが原因で雨漏れや故障が発生した場合には、保証ができません。

**▲ 警告** ●屋根雪の落下が予想される場所には取り付けしないで下さい。

**▲ 注意** ●天窓本体の上下を正しく施工して下さい。

●施工可能な屋根勾配は14° (2.5寸) ~85° です。

この範囲以外への施工は行わないで下さい。

●窓の汚れは乾拭きで落として下さい。

●ガラス面に荷重をかけたりフィルム等を貼らないで下さい。

●高温の屋根に商品を放置し続けると、ガラスの温度が上昇し割れることがあります。

●多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。

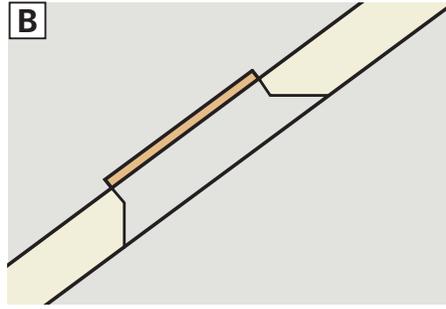
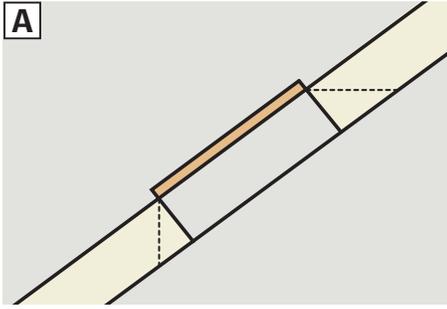
同区域の鋼板屋根には天窓上部にジャンプ台を施工して下さい。

取り付け勾配に関わらず、すが漏れは保証対象外となります。

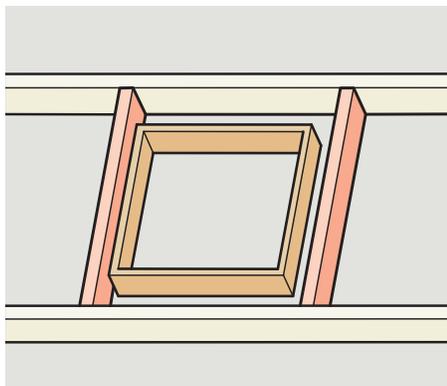
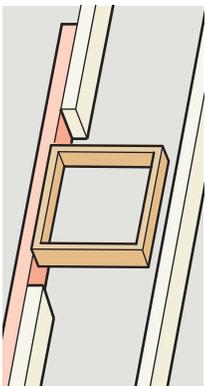
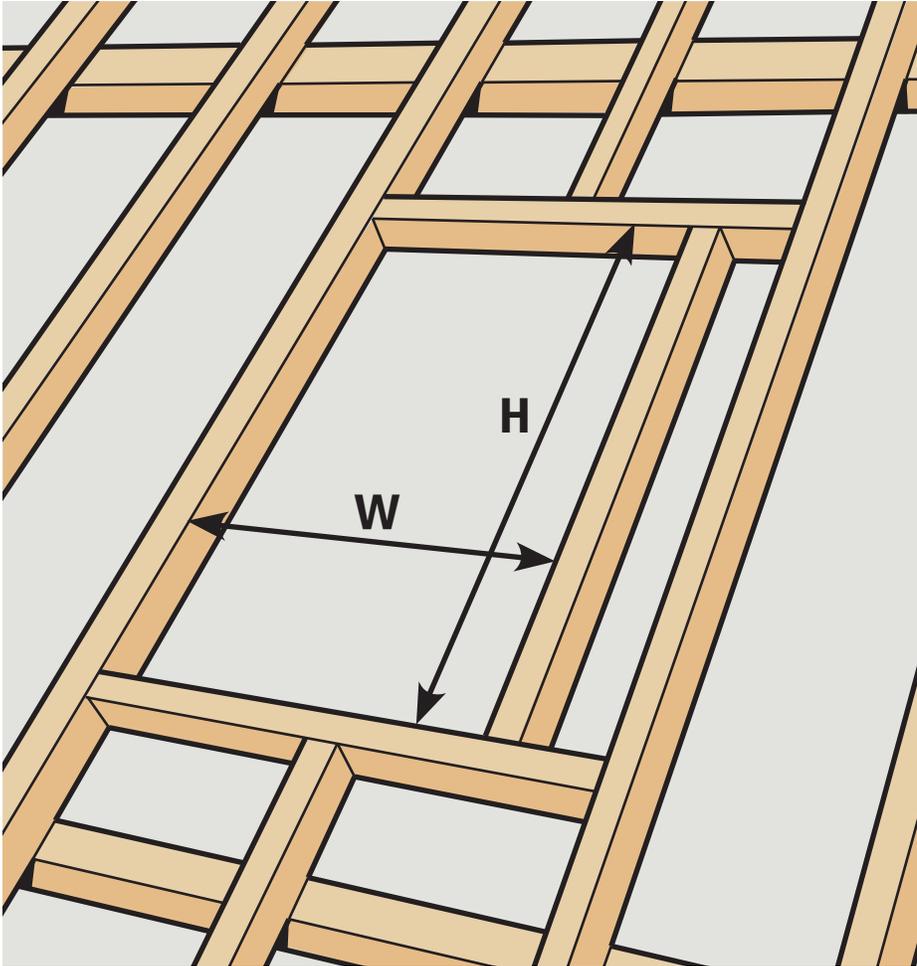
●浴室等、高温多湿となる所へは取り付けしないで下さい。

## 工事区分

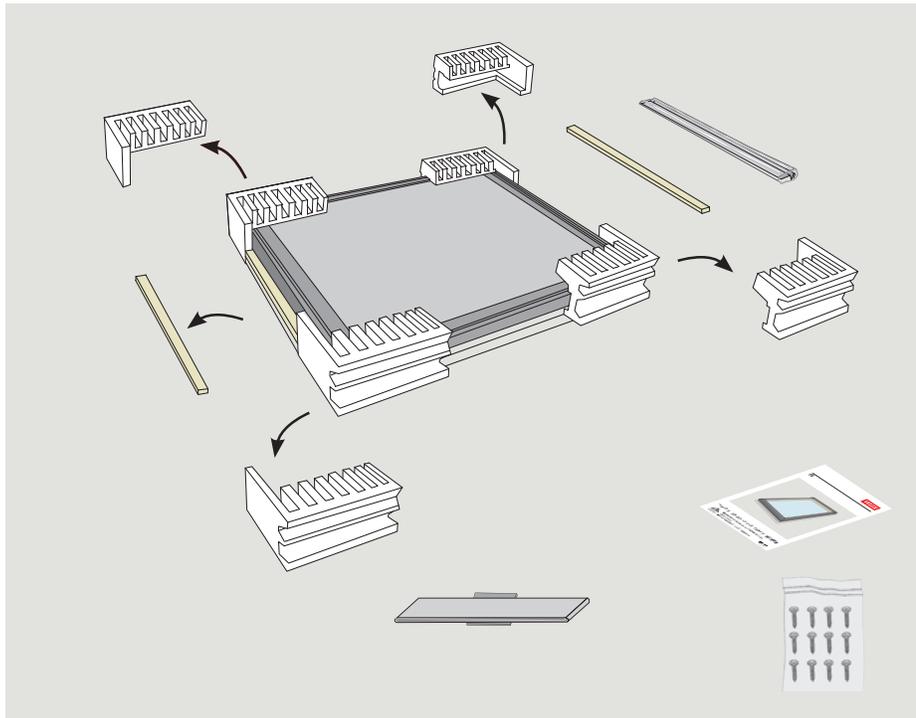
項目	内容	工事区分	ページ
開口	野地開口	建築	6
本体	位置決め ビス止め固定	建築	6、7
ルーフィング	ルーフィング施工 コーナーの処理 防水テープ貼付	屋根	10、16、26
水切り 屋根材	水切りと屋根材の 施工	屋根	11、17、28



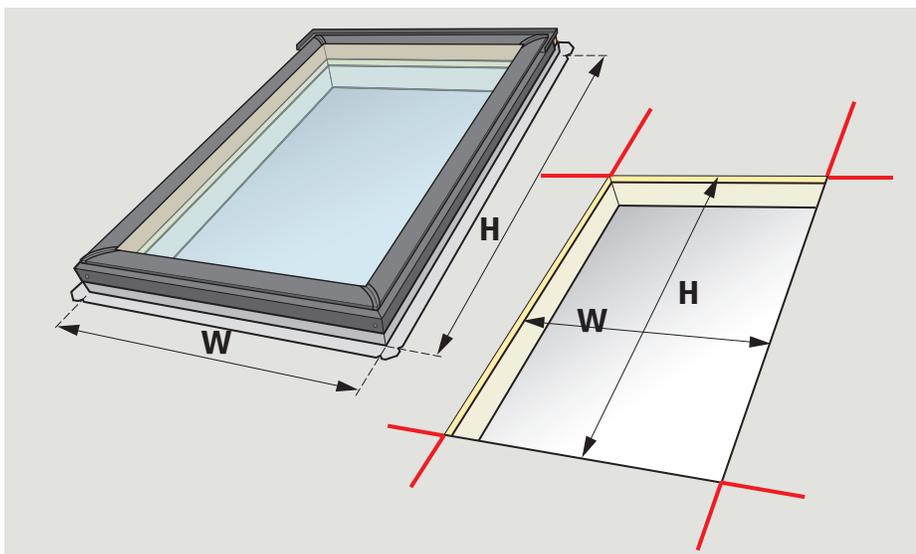
たる木開口寸法(WxH)は、内装パネルの上部・下部がそれぞれ水平・垂直になるようにして下さい。左図Bのように上部内装パネルと下部内装パネルをそれぞれ水平・垂直にとると窓本体から光を効率よく採り入れられるだけでなく、アクセサリーの操作をやすくします。さらに室内の暖かい空気がガラス面を伝わって循環しますので、結露の発生を抑制します。



開口部周辺は、たる木で充分補強して下さい。

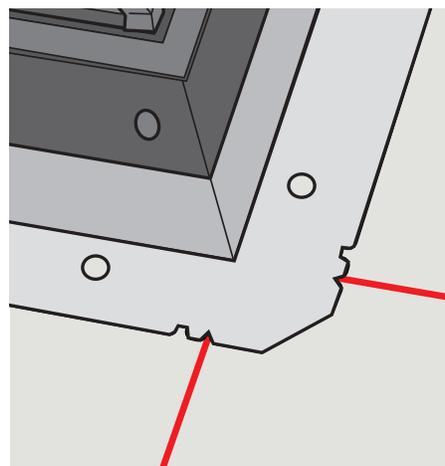


開梱後、梱包用の補強材を外して下さい。  
防水テープ及びコーナークリップ、ジャンプ台用アダプター（積雪地用）は施工時に使用しますので大切に保管して下さい。



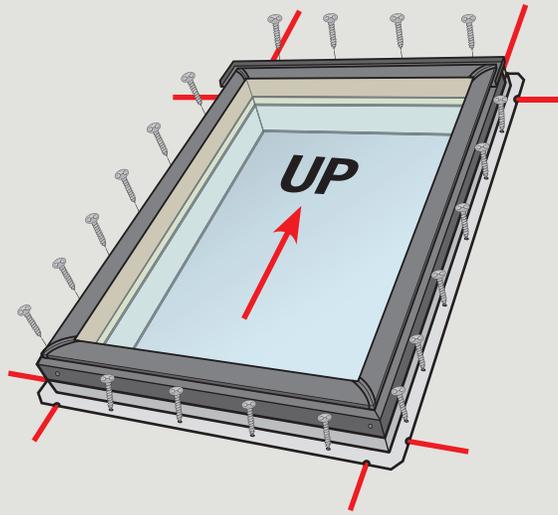
野地開口寸法(WxH)は本体外寸と同一になります。  
サイズ別の開口寸法は左表を参考にして下さい。  
次に、左図のように開口の延長線を引いて下さい。

SIZE	W X H
FS-C01	546 X 695
FS-M25	776 X 547
FS-M02	776 X 775
FS-M04	776 X 975
FS-M08	776 X 1395
FS-S25	1136 X 547
FS-S06	1136 X 1175



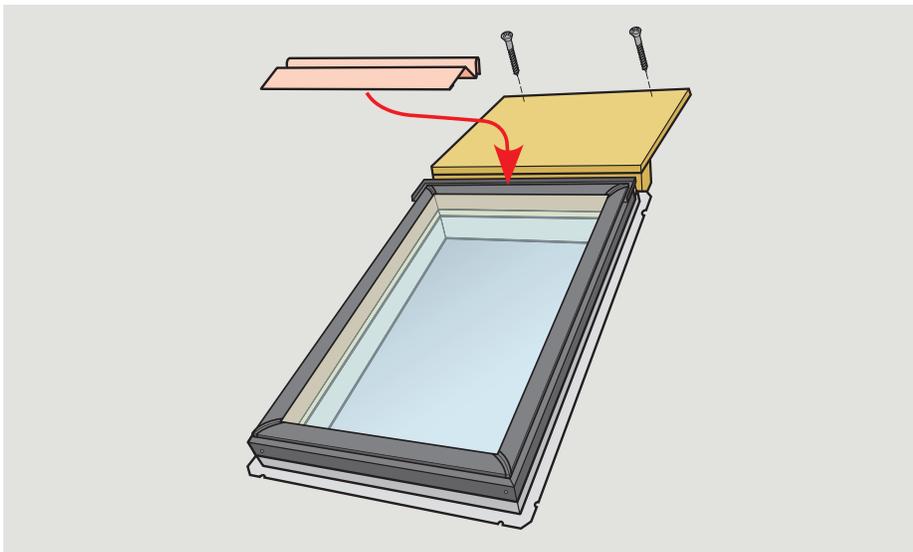
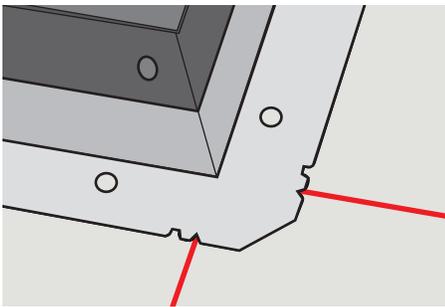
本体を開口に合わせて設置します。  
この時、左図のように本体の上下を正しく設置して下さい。  
前項で引いた延長線と、本体固定枠のキザミを図のように合わせて下さい。

1



本体の上下を正しく設置し、前項で引いた延長線と本体固定枠のキザミが合っていることを確認して下さい。野地板への取り付けは、固定枠の丸穴全てにねじで行います。

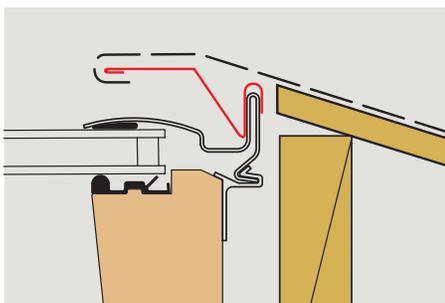
**注意!**  
横長穴は使用しません。



多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窗上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。

同区域の鋼板屋根には天窗上部にジャンプ台を施工して下さい。

- ・窓枠上部へ土台となる合板を貼ります。
- ・合板は十分な長さを取って下さい。  
(雪が溜まるので、逆勾配にしないで下さい)
- ・付属のジャンプ台用アダプターを使用して下さい。

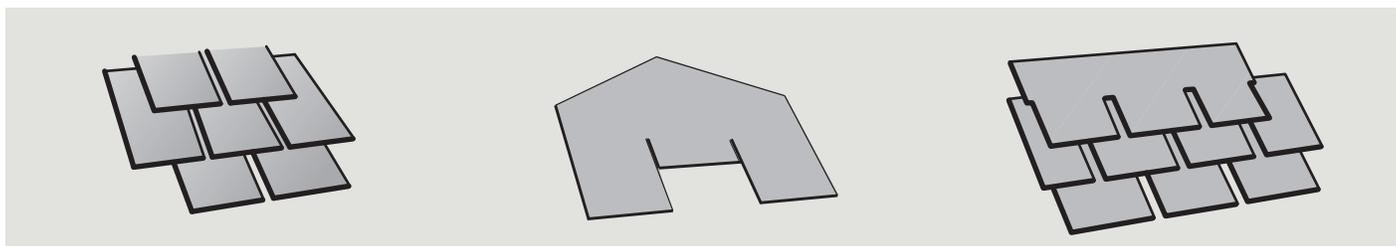


# スレート用取り付け説明書 (コロニアル・カラーベスト等)

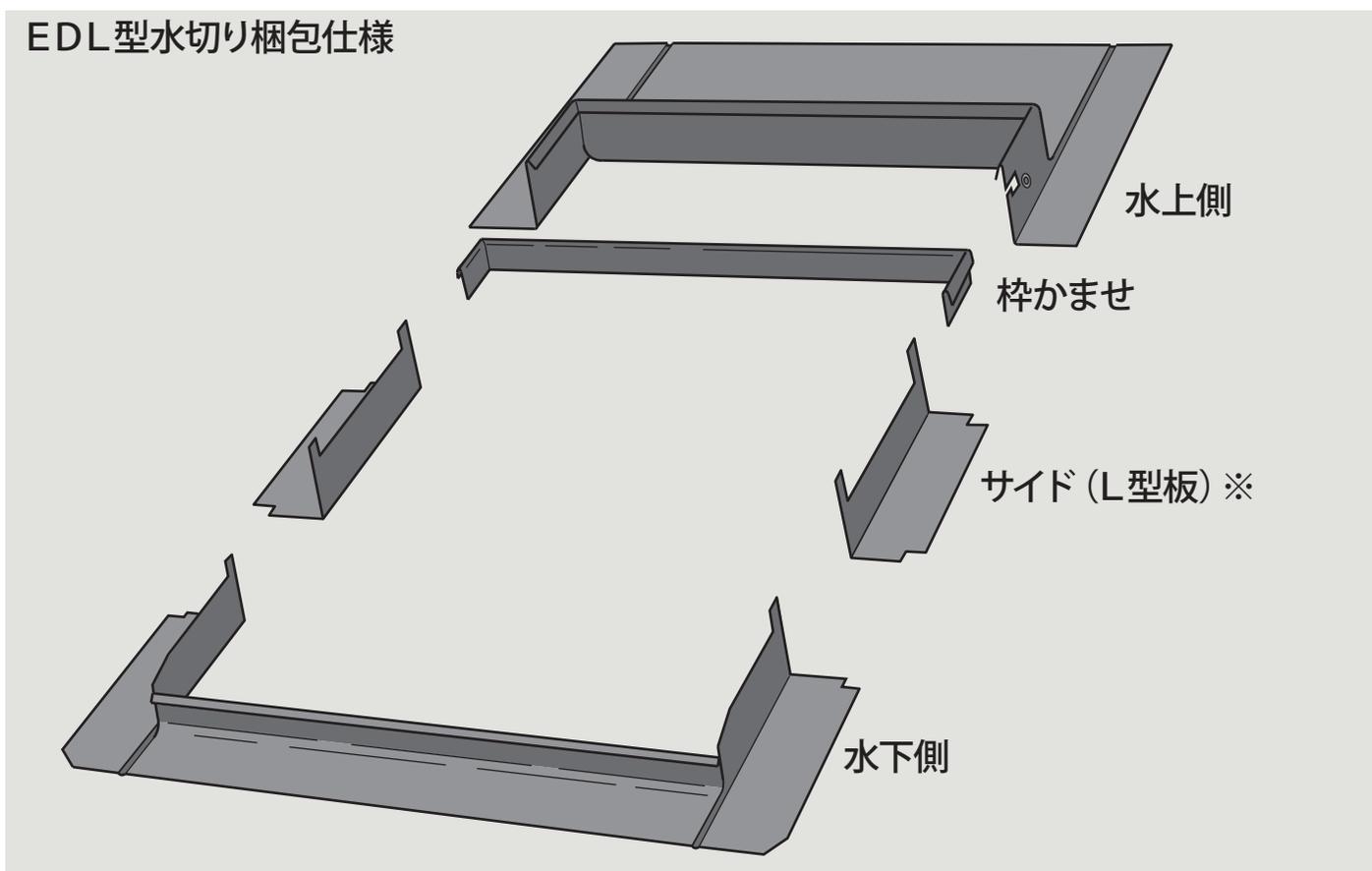
・EDL型水切り使用

\*波瓦・S瓦・和瓦等を使用の場合は、EDW型水切りの説明書を参照下さい。

\*鋼板屋根には鋼板横葺き施工例を参照下さい。



## EDL型水切り梱包仕様



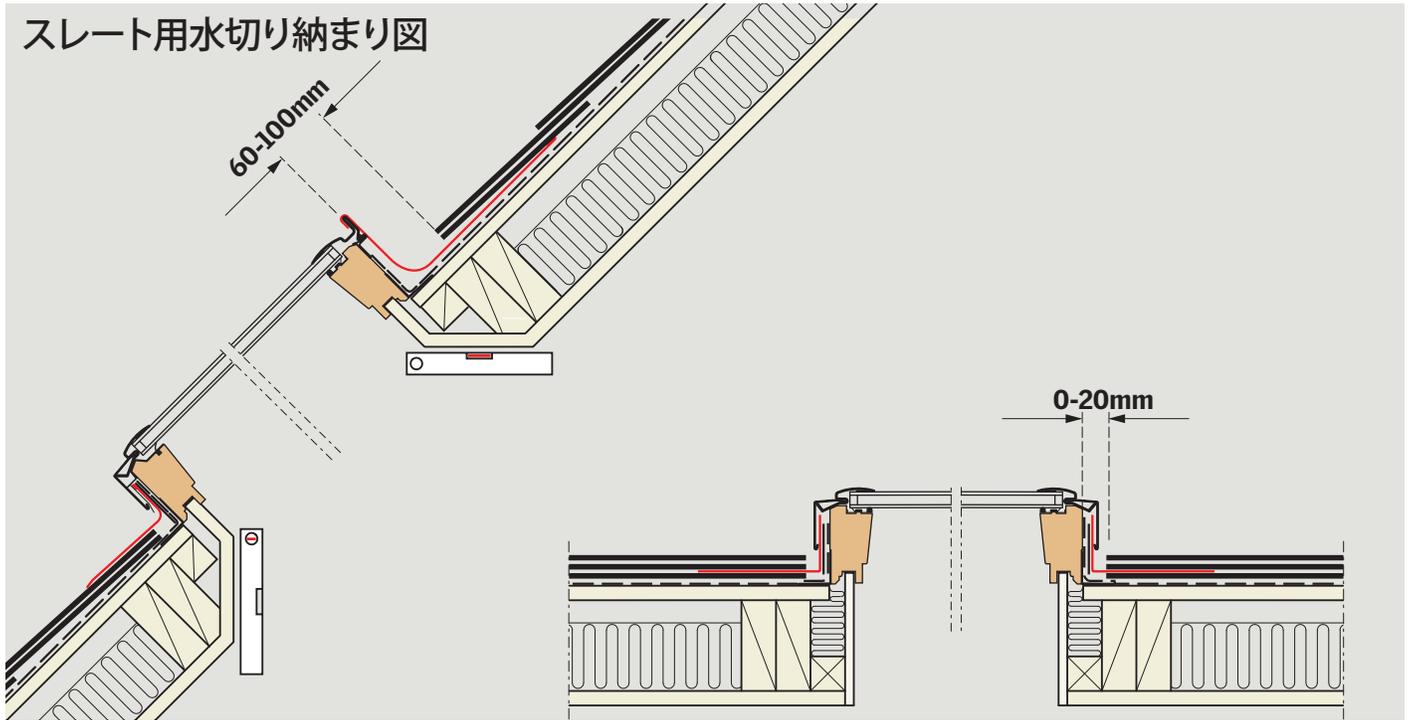
### ※サイド (L型板) 枚数

サイズ	枚数
C01	8
M25 / M02 / M04	12
M08	16
S25 / S06	14

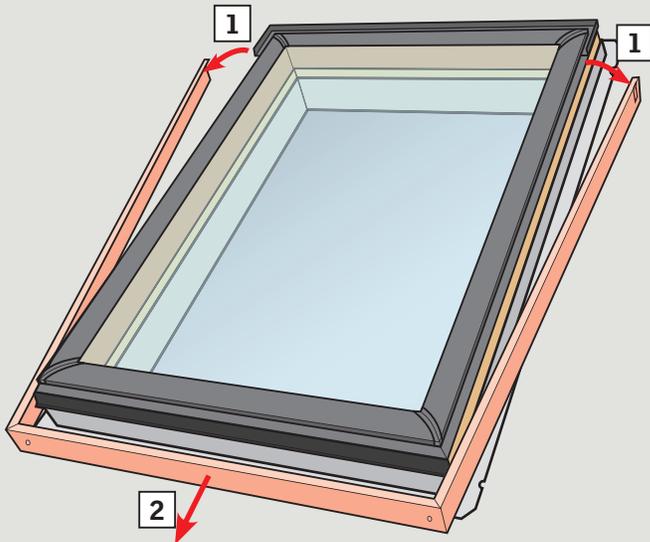
### 梱包内容

水上側	1本
枠かませ	1本
サイド	※
水下側	1本
釘/ねじ	1袋

## スレート用水切り納まり図

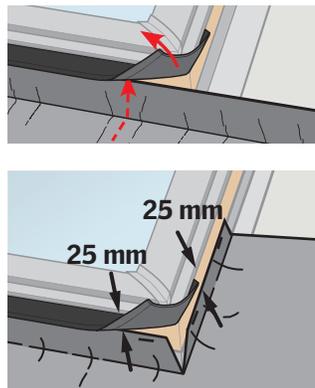
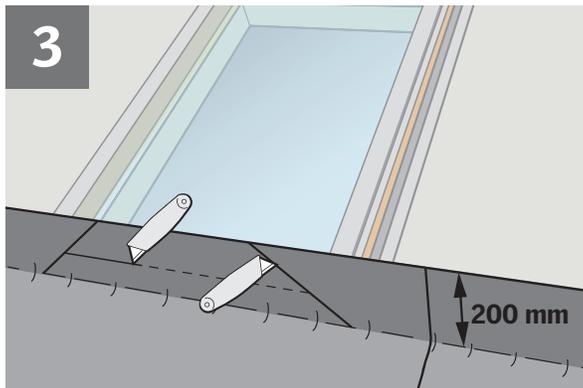


2



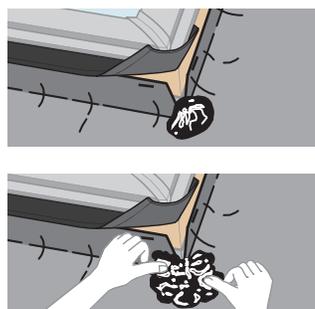
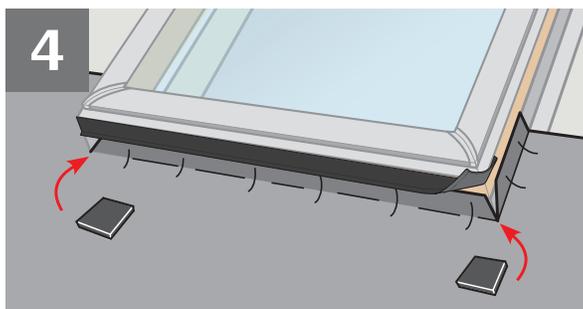
本体のアルミ外装板を、図のように上部を開いてから、下に引いて一旦取り外して下さい。  
後で戻すので、紛失、変形しないようご注意ください。

**注意!**  
左右と下部が一体型になっているので、そのまま外して下さい。  
下部コーナーの接続プラグは外さないで下さい。



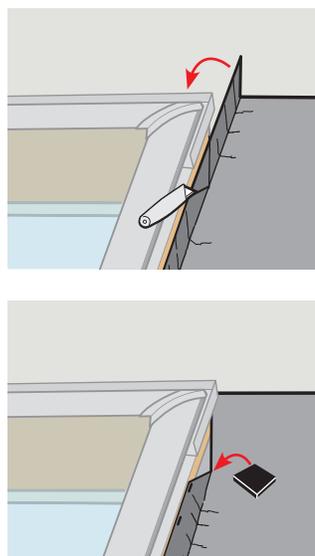
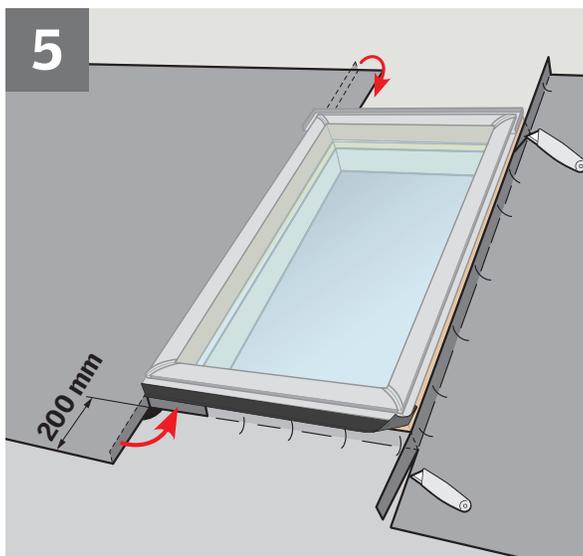
ルーフィングシートを本体上端より25mm下まで立ち上げます。(防水テープを貼るので25mm木枠を残して下さい。)左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。

**重要!**  
下部は、本体下部ゴムガasketをめくって、ルーフィングシートを本体にタッカーで留めて下さい。

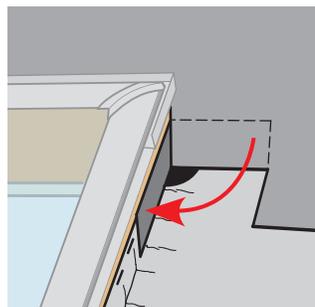
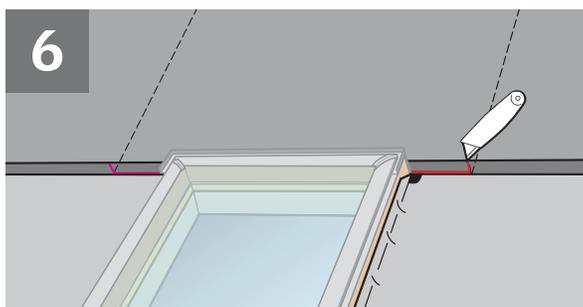


左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーパチルでふさいで下さい。

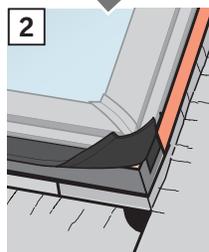
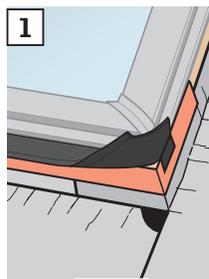
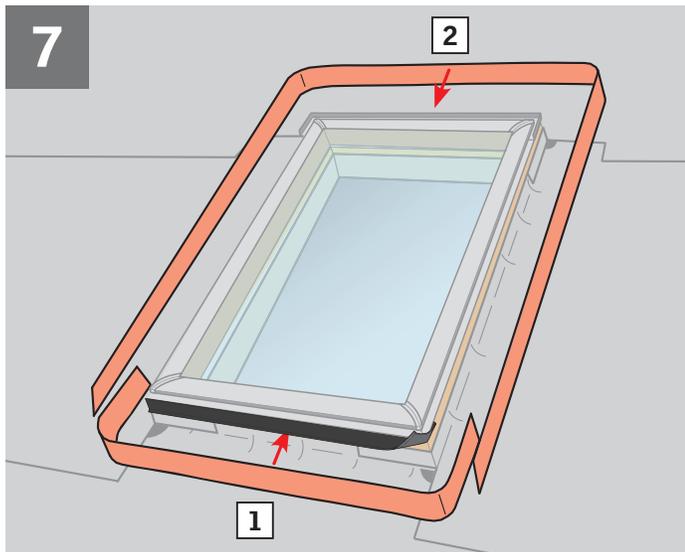
**注意!**  
コーナーパチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。



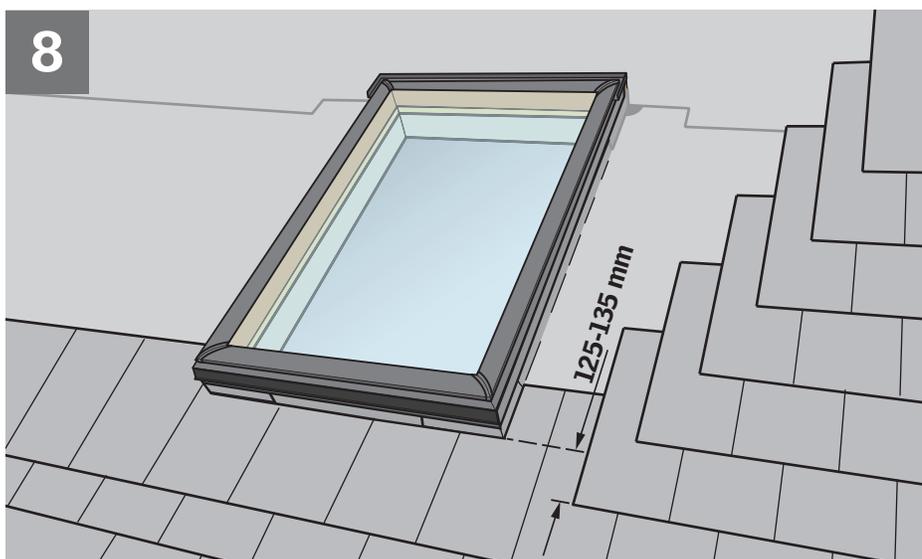
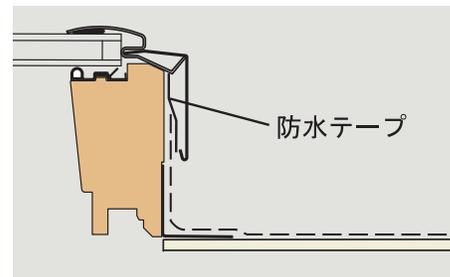
ルーフィングシートは本体サイドの上端より25mm下まで立ち上げ、下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げてタッカーで留めて下さい。  
上部は左右コーナーより角度をつけてカットして下さい。  
次にコーナーパチルを接着して下さい。



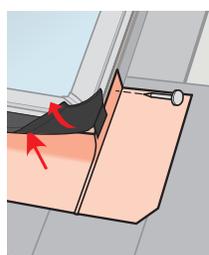
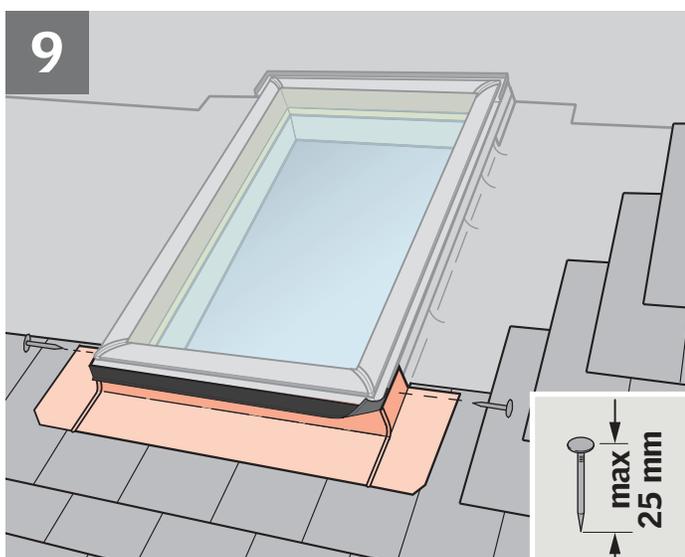
上部木枠も上端より25mm下までルーフィングシートを立ち上げ左図の要領でカットして折り曲げてタッカーで留めて下さい。



下部ゴムガスケットをめくり、ルーフィングシートと木枠を防水テープ(付属品)でしっかり密着して下さい(図1)。次に側部及び上部に防水テープを密着します(図2)。



窓枠下部と、サイドにくる屋根材の下端の間隔を125-135mmとって下さい。このようにしますと、下部水切りと屋根材の葺き足がそろいきれいに納まります。

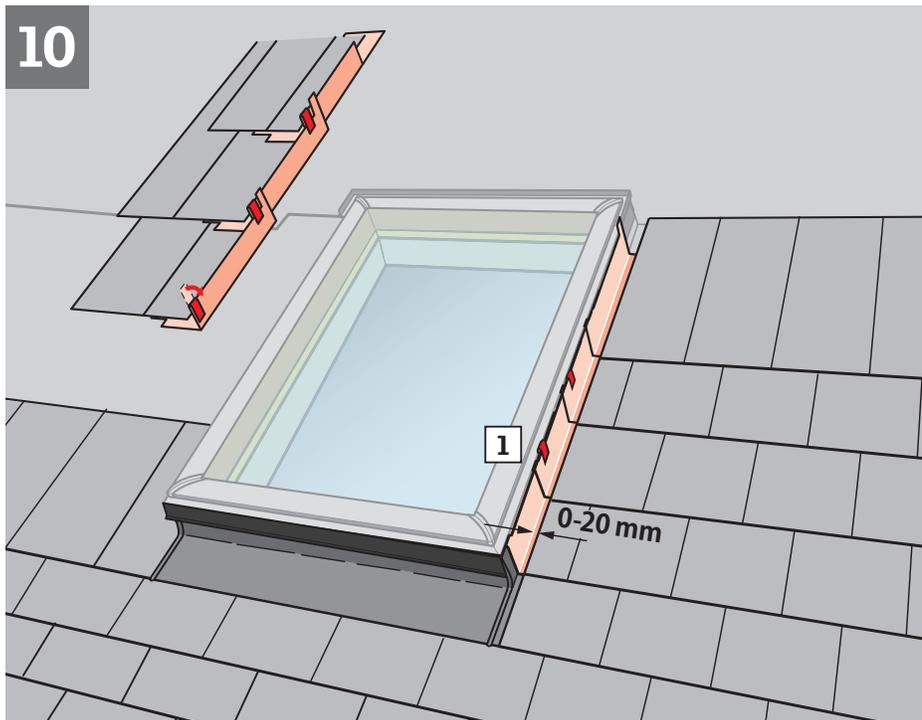


下部水切りを窓枠にはめ込み、付属の釘で固定して下さい。

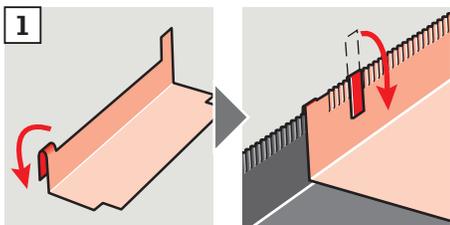
**重要!**  
下部水切りは左図のようにゴムガスケットをめくり、ガスケットの奥に納めて下さい。



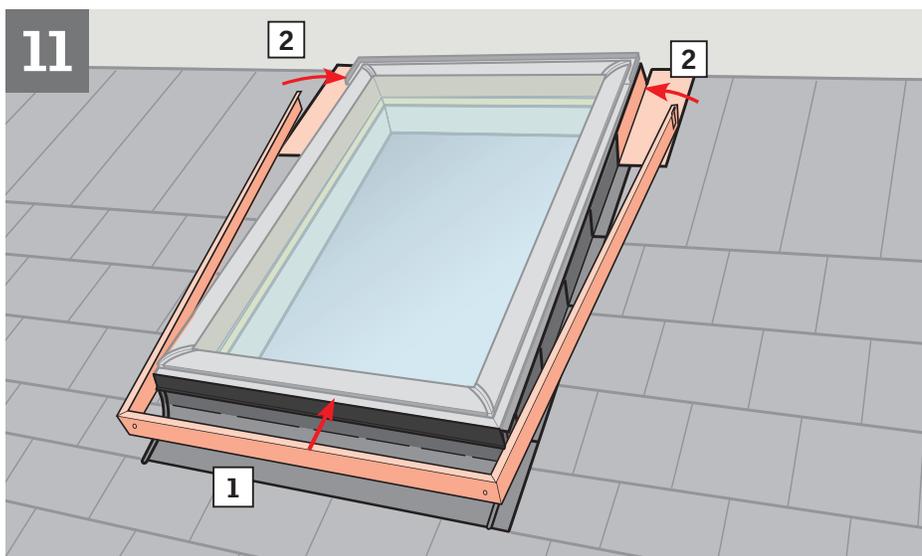
10



水切り側部L型板のリップを図のように曲げ、屋根材の下に敷き、左図に示すようにL型板と屋根材がサンドイッチ状に交互に重なるように下部より順に葺き重ねて下さい。その際上下のL型板の重なりを100 mm 以上とって下さい。上下のL型板は、リップを曲げて固定します。窓枠側部と側列の屋根材とのすき間は、0-20mm 開けて下さい。



11

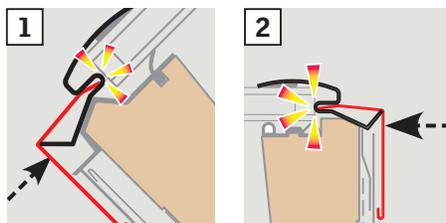
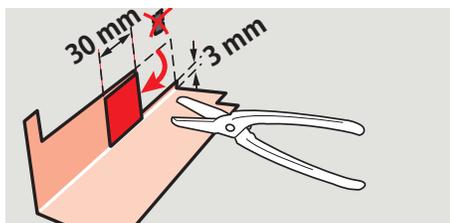


窓枠上部では、L型板の寸法が余りますので図のように切り込みを入れて、外側に折り曲げて下さい。折り曲げ寸法は、30mm 以内として下さい。

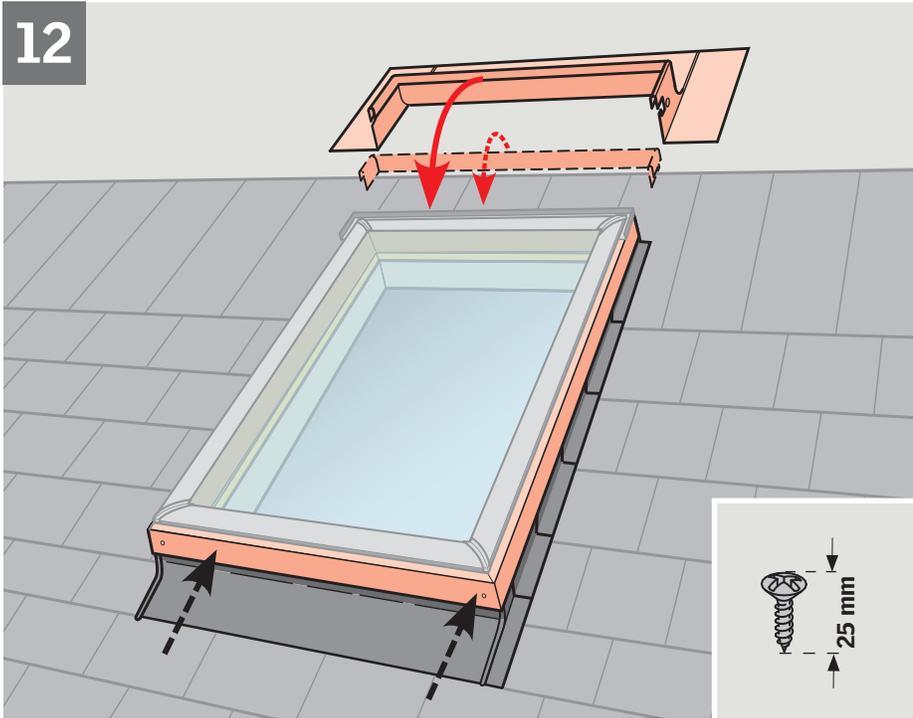
L型板の取り付けが完了したら、アルミ外装板を元の位置に取り付けて下さい。まず、アルミ外装板上部を図のように開き、下から差し込みます。

#### 重要!

アルミ外装板は、下図を参考に下部→側部の順にしっかり差し込み、正しい位置に戻して下さい。



12



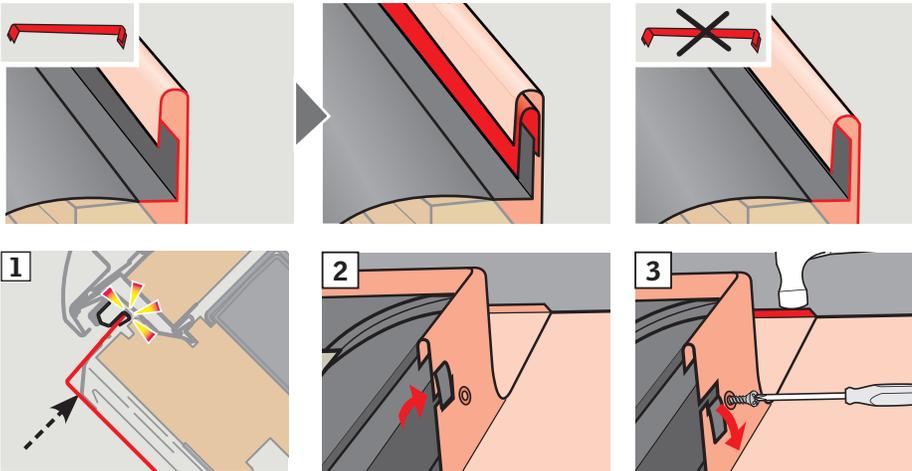
上部水切りは、本体上部の縁（へり）を被いかぶせるようにはめ込みます。この時、アルミ外装板をしっかり差し込み(1)、リップを上部水切りの切り込みから出して折り曲げ(2)、付属のねじを用いて、本体側面に固定して下さい(3)。

**重要!**

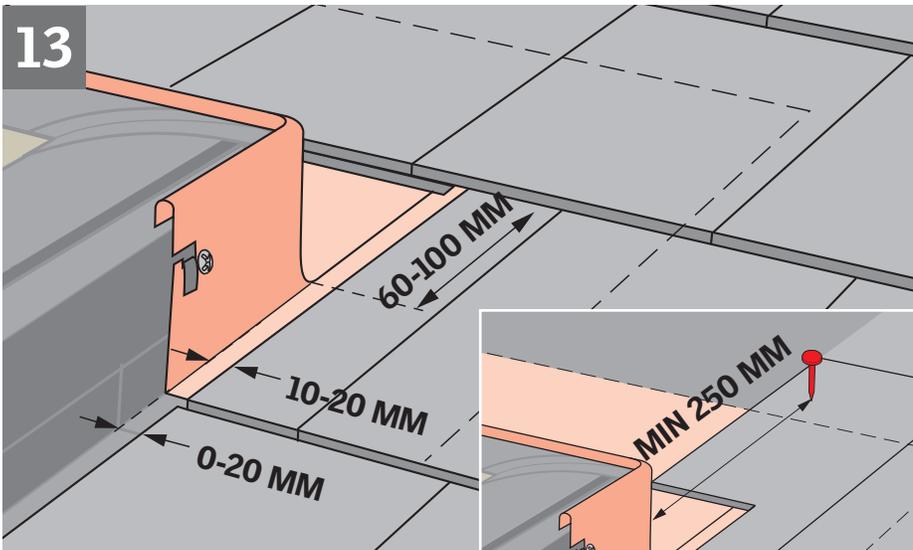
尚、上部水切りには、屋根材の厚みにより、高さ調節用にコの字型の枠かませが入っています。

上部アルミ外装板と上部水切りのかみ合わせにすき間が生じた場合は、枠かませを上部水切りの下に入れて調節して下さい。

水切り上部の折り返しは必要に応じてハンマー等で少したたいて高さ調整して下さい(3)。



13



上部水切りの上の屋根材は、天窗上部より、60-100mm 開けて下さい。

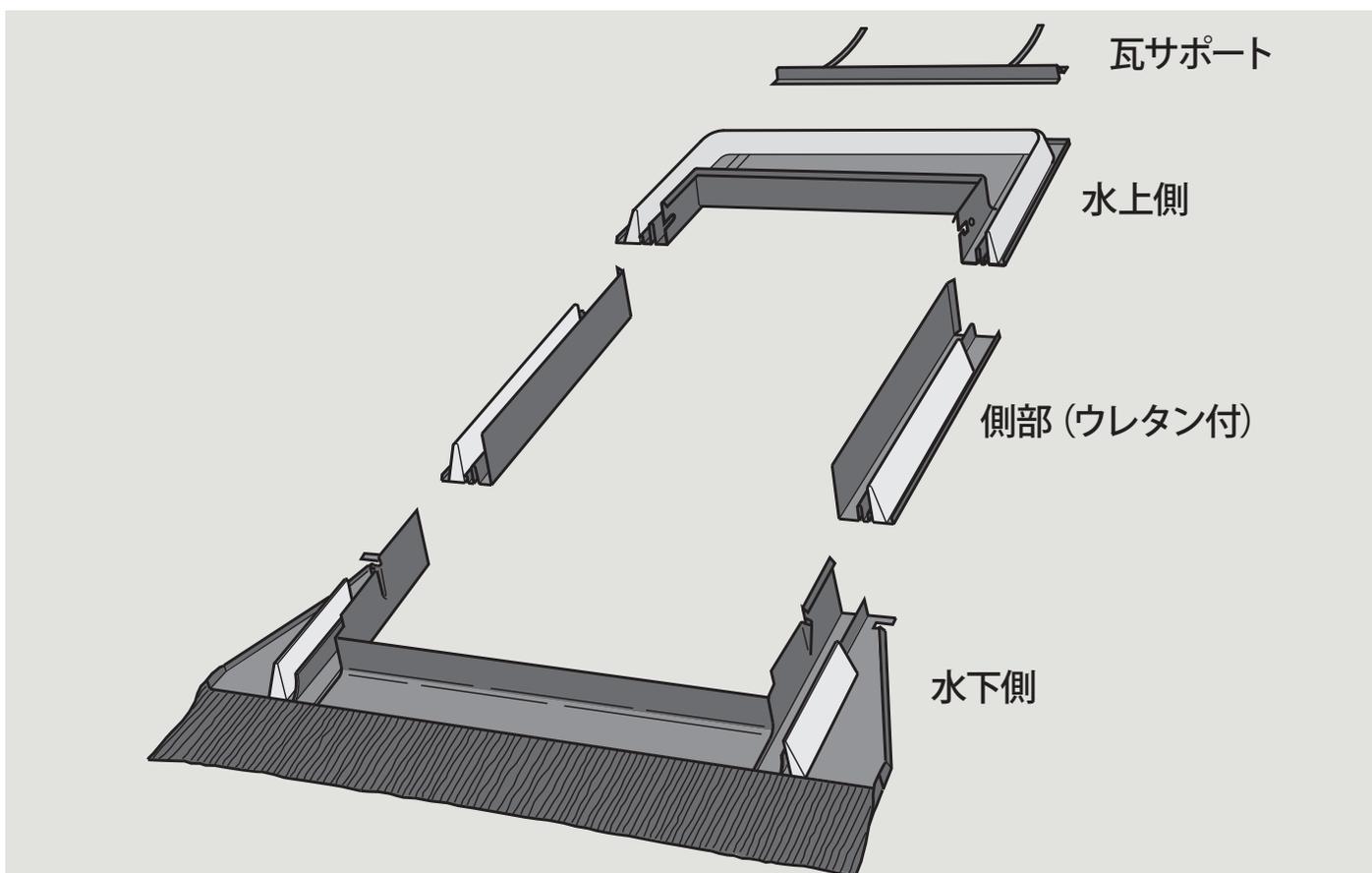
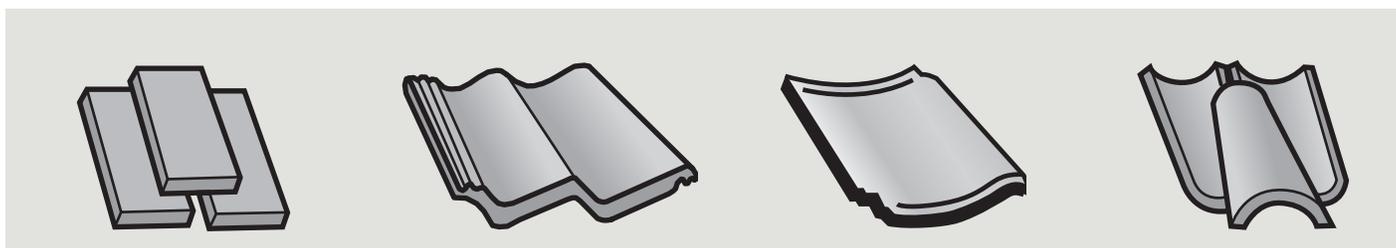
**重要!**

尚、上部水切りの上には、必ず2枚の屋根材を重ねて下さい。1枚の屋根材だけですと、屋根材の継ぎ目から漏水する場合があります。

下図の上にもう一枚スレートを葺いて仕上げて下さい。

# 瓦用取り付け説明書 (平瓦・和瓦・波瓦・S型等)

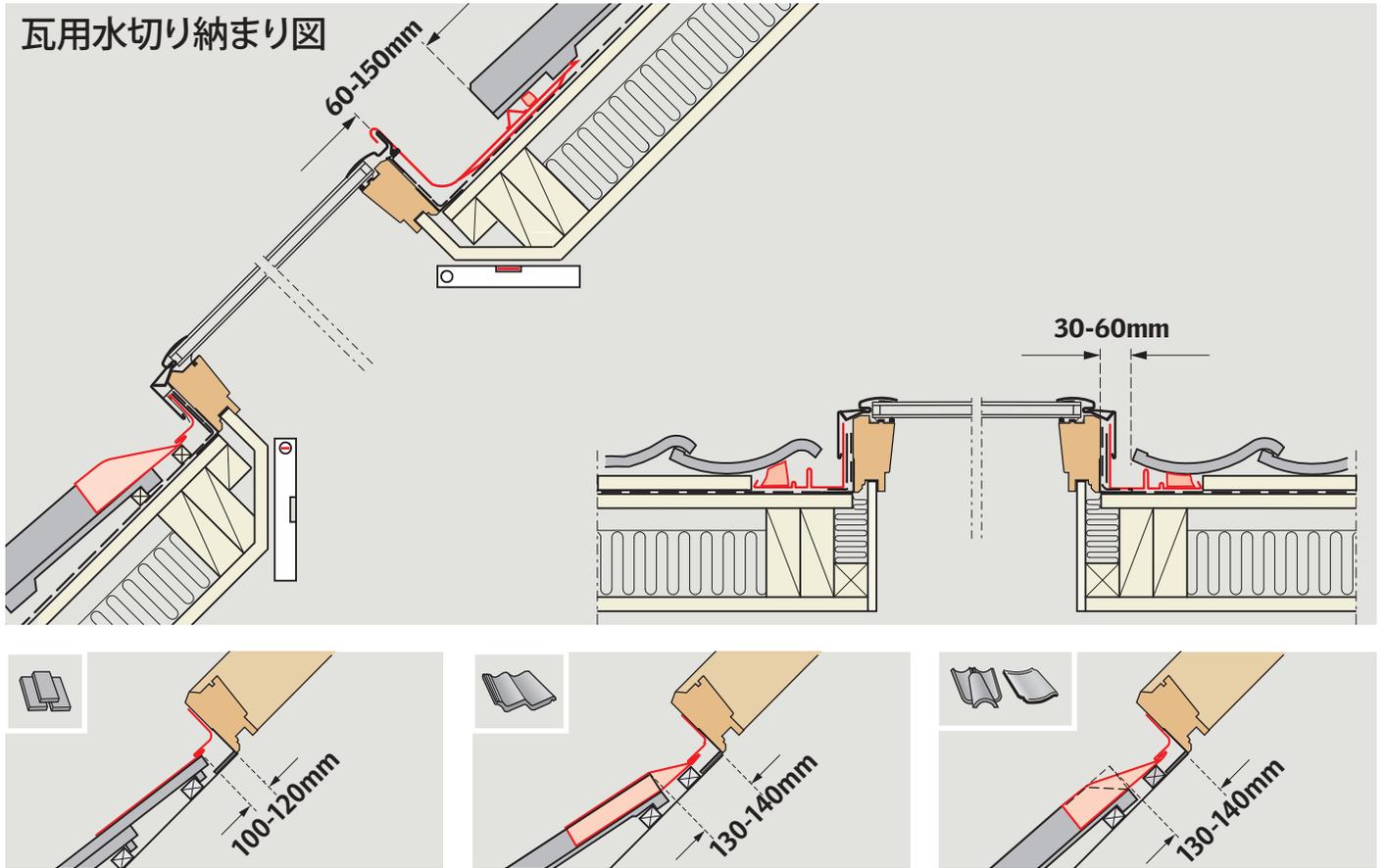
・EDW型水切り使用



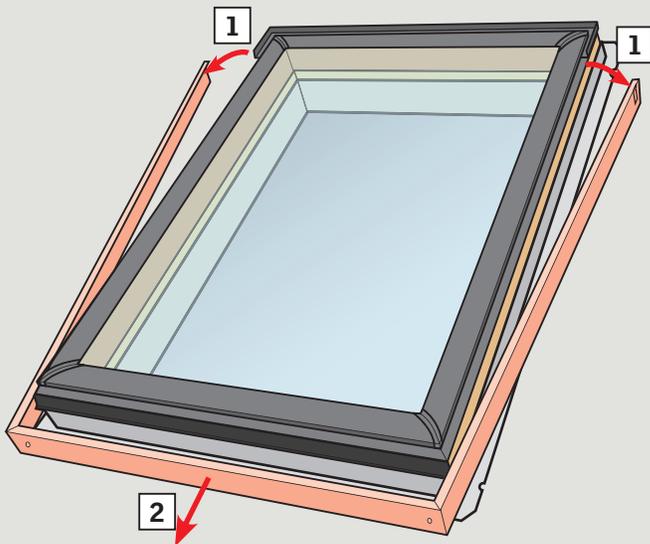
## 梱包内容

水上側	1 本
瓦サポート	1 本
側部	2 本
水下側	1 本
釘/ねじ/縁留め金具	1 袋

## 瓦用水切り納まり図

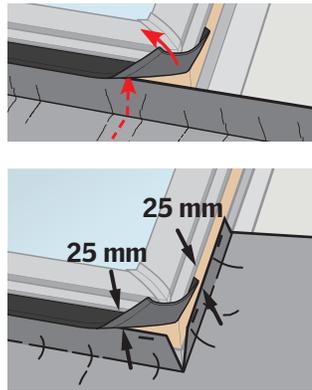
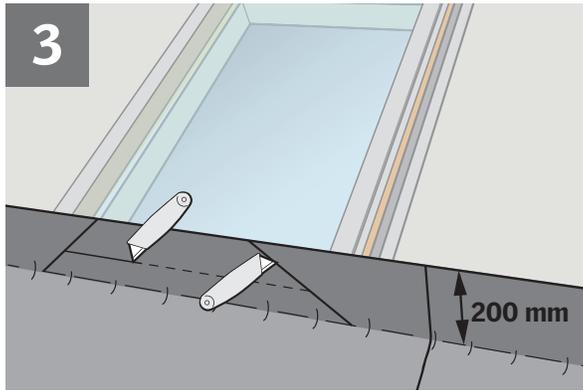


2



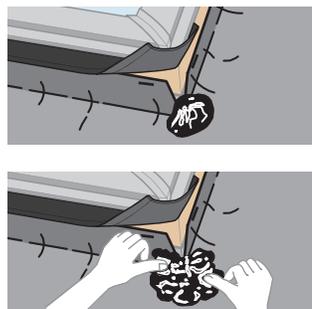
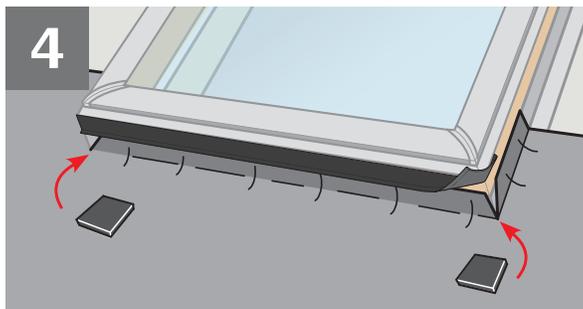
本体のアルミ外装板を、図のように上部を開いてから、下に引いて一旦取り外して下さい。  
後で戻すので、紛失、変形しないようご注意ください。

**注意!**  
左右と下部が一体型になっているので、そのまま外して下さい。  
下部コーナーの接続プラグは外さないで下さい。



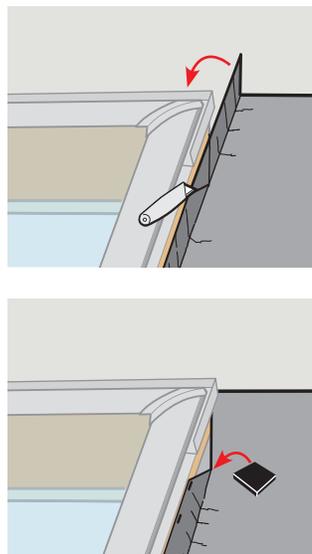
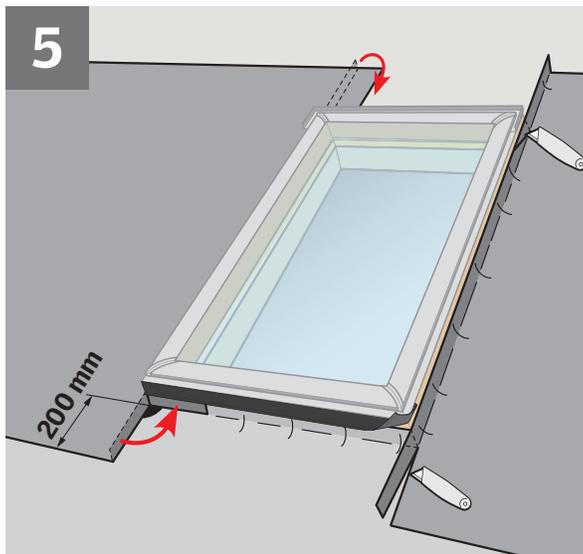
ルーフィングシートを本体上端より25mm下まで立ち上げます。(防水テープを貼るので25mm 木枠を残して下さい。) 左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。

**重要!**  
下部は、本体下部ゴムガasketをめくって、ルーフィングシートを本体にタッカーで留めて下さい。

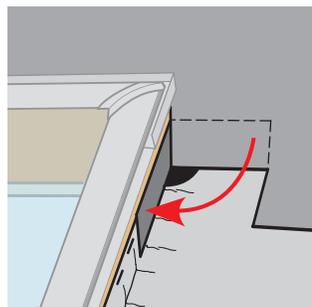
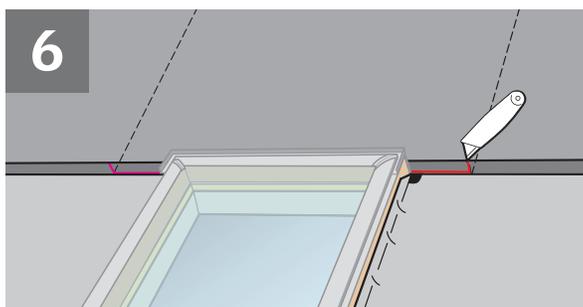


左右コーナーのピンホールを同梱のコーナーブチルでふさいで下さい。

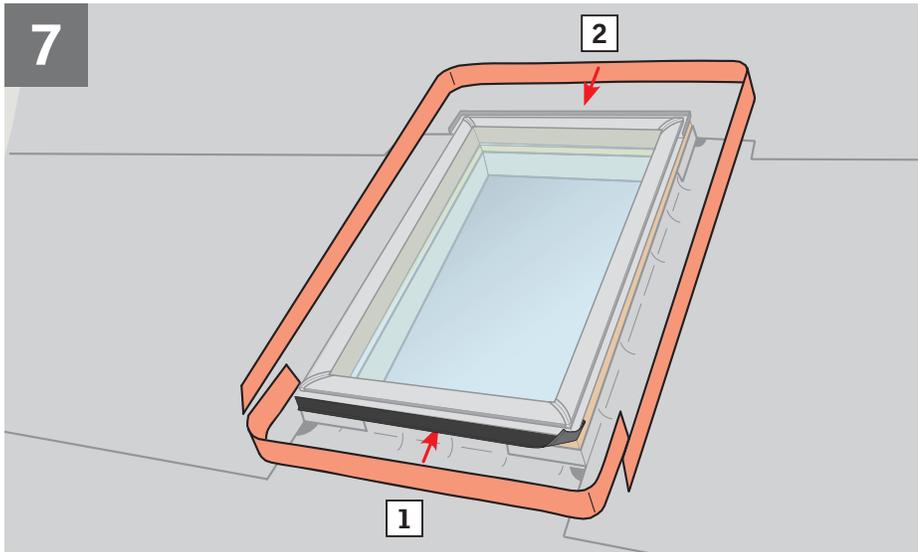
**注意!**  
コーナーブチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。



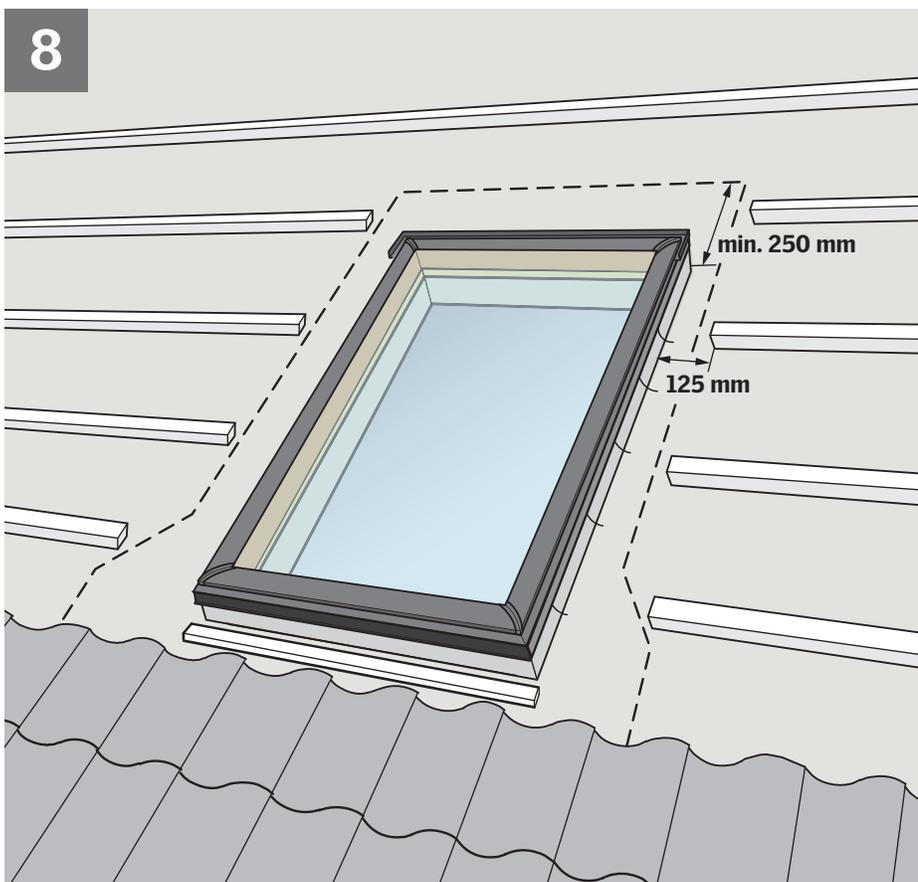
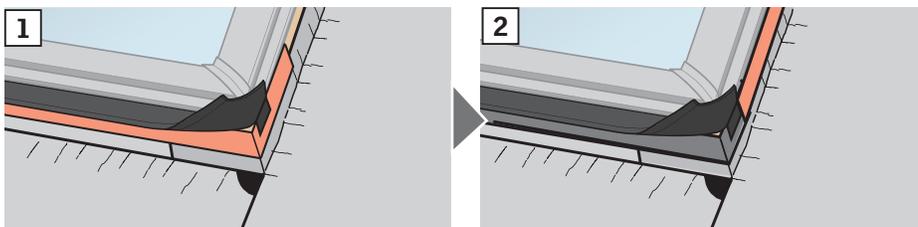
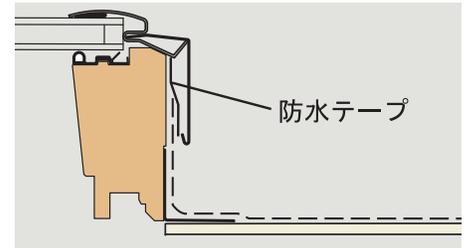
ルーフィングシートは本体サイドの上端より25mm下まで立ち上げ、下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げてタッカーで留めて下さい。  
上部は左右コーナーより角度をつけてカットして下さい。  
次にコーナーブチルを接着して下さい。



上部木枠も上端より25mm下までルーフィングシートを立ち上げ左図の要領でカットして折り曲げてタッカーで留めて下さい。

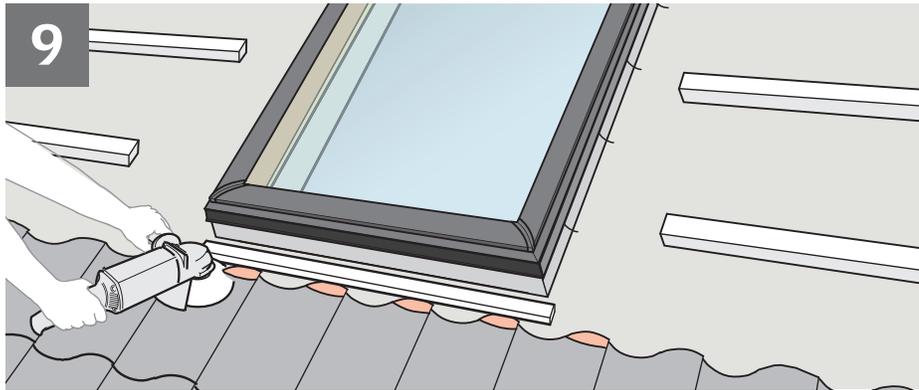


下部ゴムガスケットをめくり、ルーフィングシートと木枠を防水テープ(付属品)でしっかり密着して下さい(図1)。次に側部及び上部に防水テープを密着します(図2)。

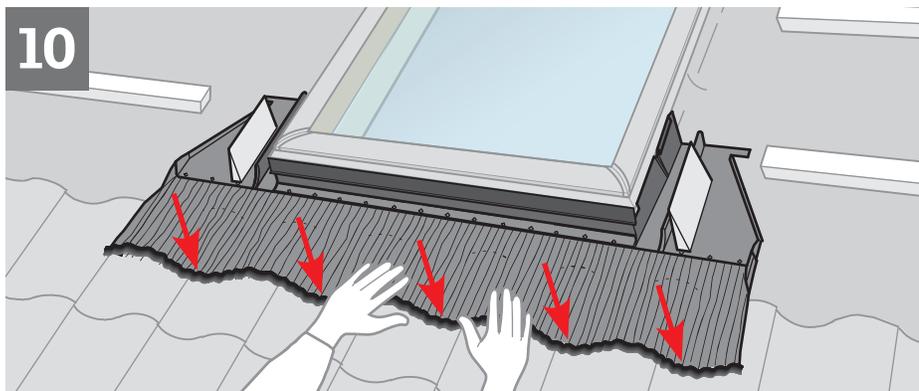
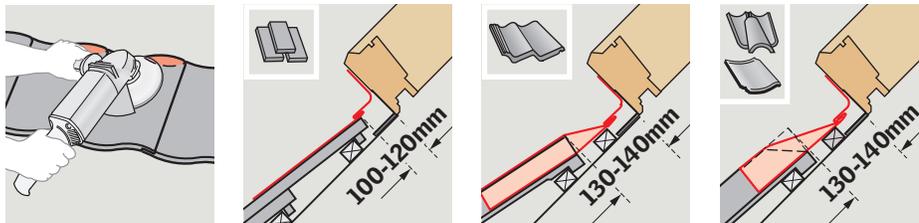


窓枠下部の面と下に納まる瓦とのすき間は和瓦や波瓦の場合130-140mm 開けて下さい。

**注意!**  
瓦棧は窓枠側面より125mm 離れた所で止め、上部は250mm 開けて下さい。水切りは野地板の上に乗ります。窓枠と瓦の間に瓦棧等を入れてエプロンが逆勾配にならない様調整して下さい。

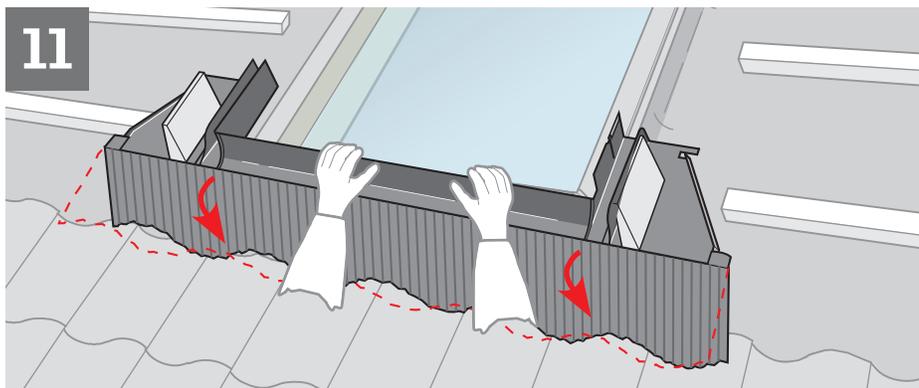


本体と屋根材との間隔は下図を参考に決めて下さい。本体下部の真下に納まる瓦は、左図に示すように角をカッター等で削りとって雨水が滞らないよう調整して下さい。

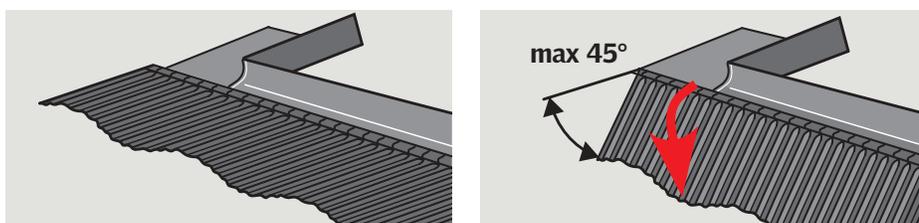


下部水切りは左図のように仮に本体にはめ込み、エプロン部を瓦の起伏に合わせて延ばして下さい。

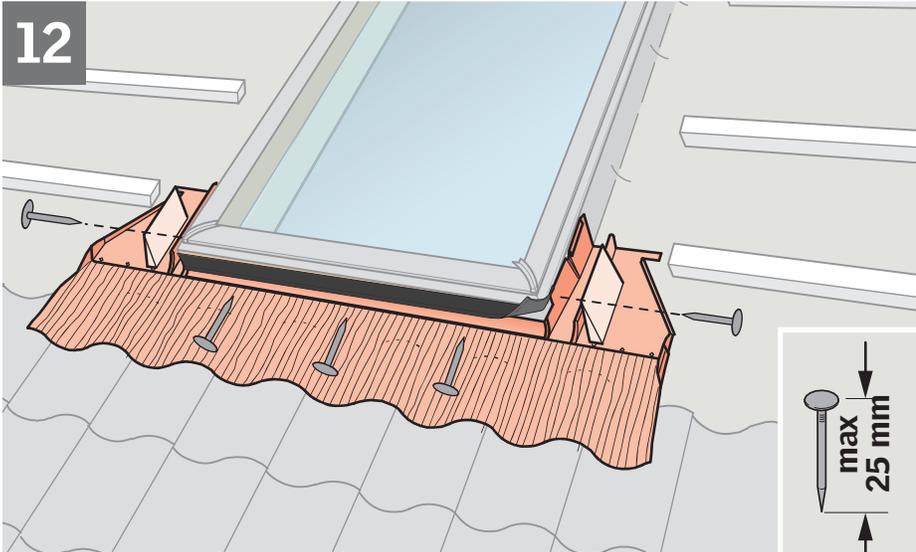
**重要!**  
瓦とエプロンの重なりが少ない場合は、延長エプロン（別売）をご利用ください。



一旦下部水切りを外し、エプロン部を下右図のように45°曲げます。このようにしますと、エプロン部と瓦のすき間が最小限に抑えられます。



12



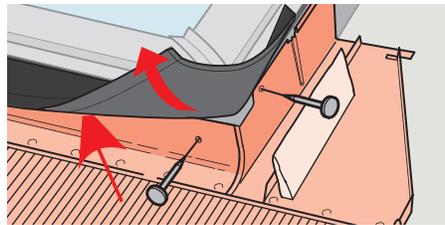
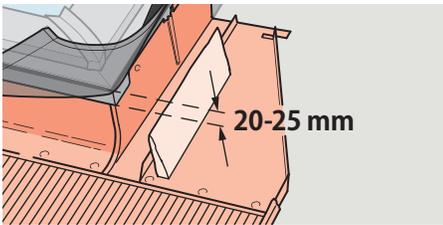
下部水切りを窓枠にはめ込み、左図のように外枠上端より20-25mmの位置に釘止めして下さい。

**重要!**

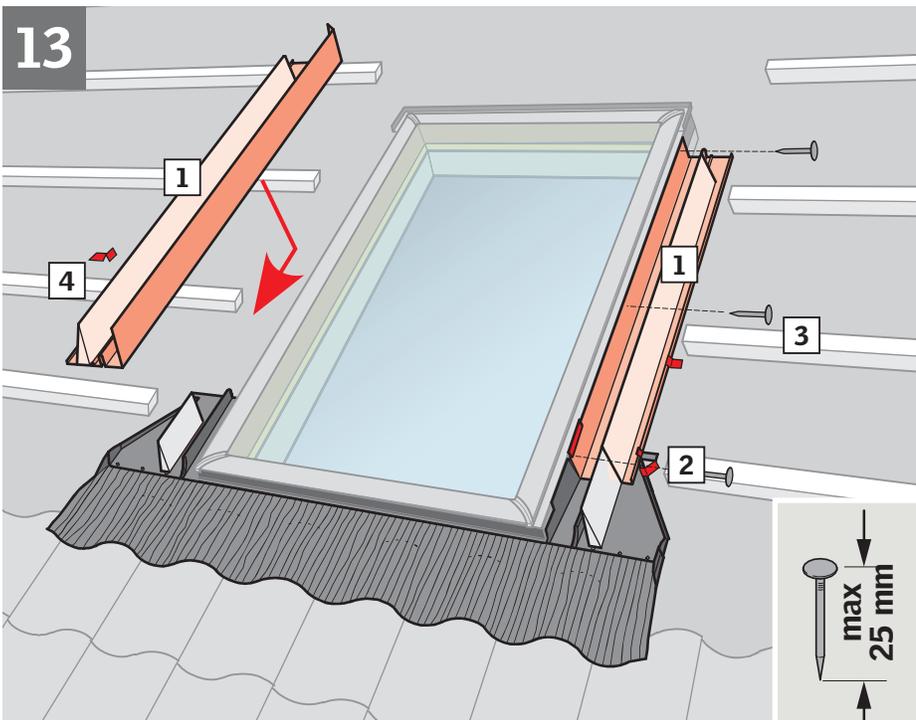
下部水切りは左図のようにゴムガasketをめぐり、ガasketの奥に納めて下さい。

**重要!**

強風時のエプロン部めくれを防止する為、瓦とエプロン部を点付けて接着して下さい。



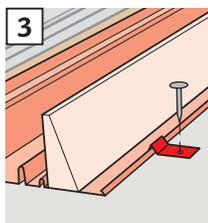
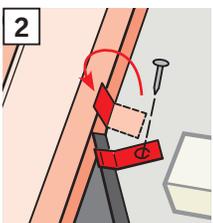
13



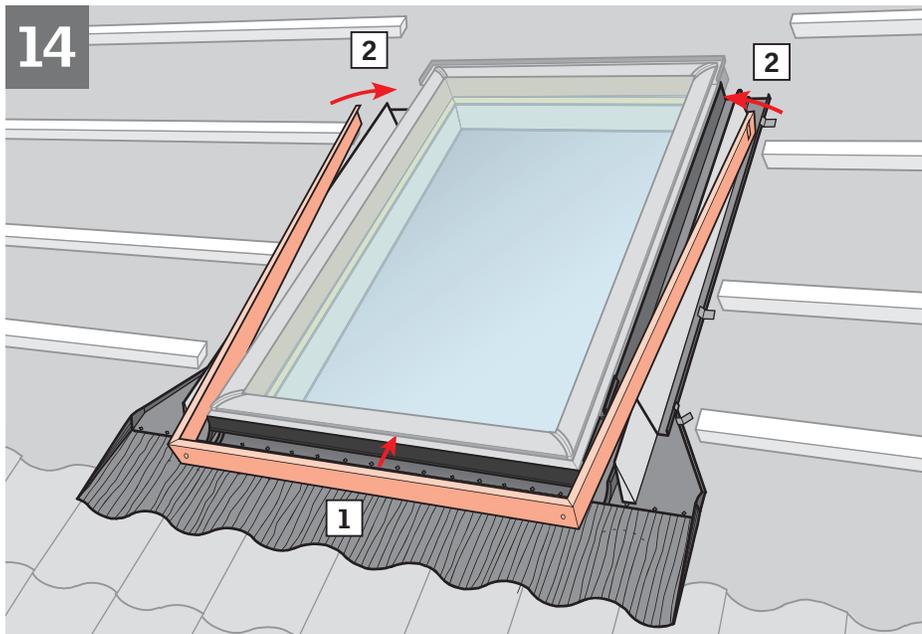
側部水切り1は図2のように下部水切りの折り返し部分に差し込み、切り込み羽を折り返して下さい。さらに本体へは、付属の釘で固定し、野地板へは付属の縁留め金具で留めて下さい(図3)。

**注意!**

水切りを瓦棧の上に乗せないで下さい。



14

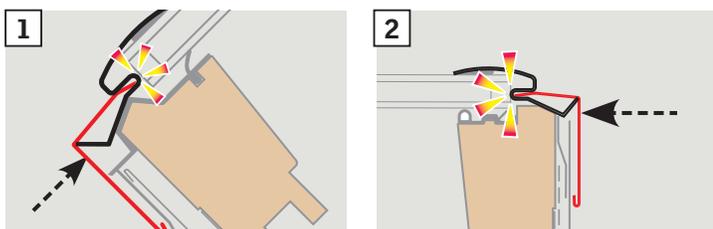


側部水切りの取り付けが完了したら、アルミ外装板を元の位置に取り付けて下さい。

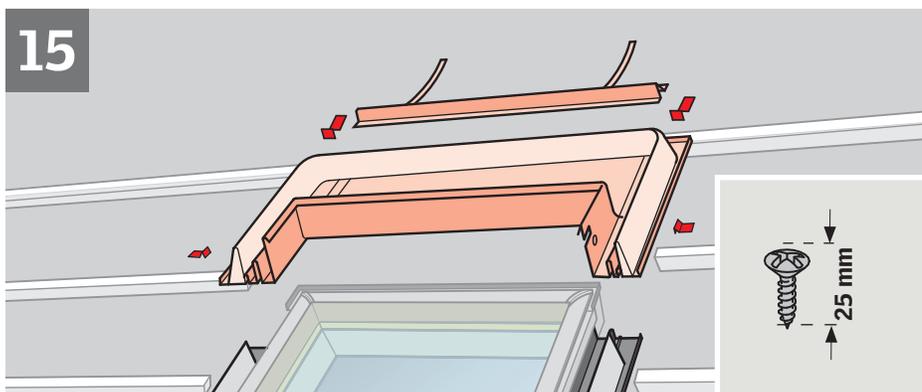
まず、アルミ外装板上部を図のように開き、下から差し込みます。

**重要!**

アルミ外装板は、下図を参考に下部→側部の順にしっかり差し込み、正しい位置に戻して下さい。



15

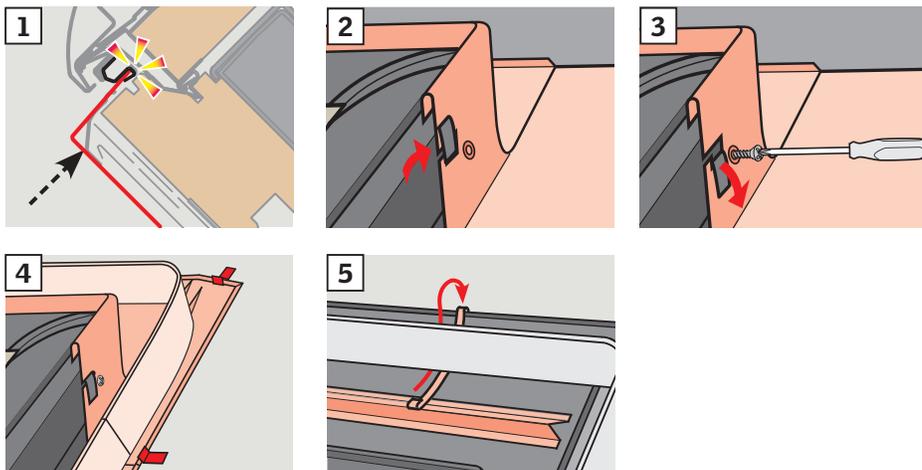


上部水切りは、本体上部の縁(へり)を被いかぶせるようにはめ込みます。

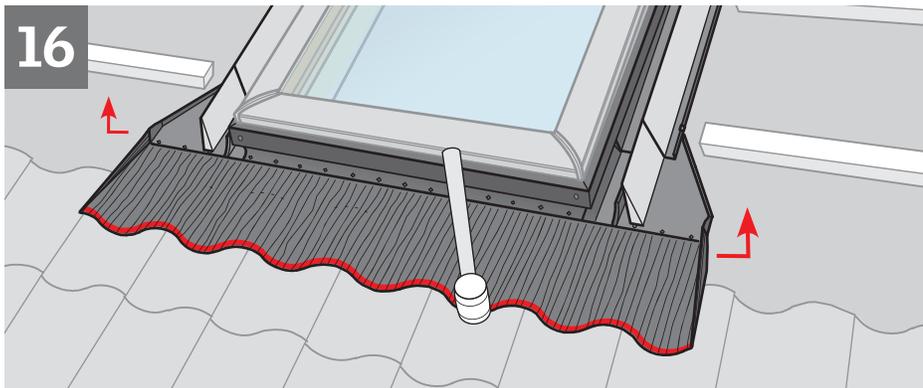
この時、アルミ外装板をしっかり差し込み(1)、リップを上部水切りの切り込みから出して折り曲げ(2)、付属のねじを用いて、本体側面に固定して下さい(3)。野地板へは付属の縁留め金具で留めて下さい(4)。

尚、上部水切りには、天辺にくる瓦が横の瓦と高さのバランスを崩さぬよう瓦サポートが入っています。

この瓦サポートを上部水切りの中央に置きウレタンの下から2枚の留め金具を差し出して、上部水切りの下へ折り込みます(5)。

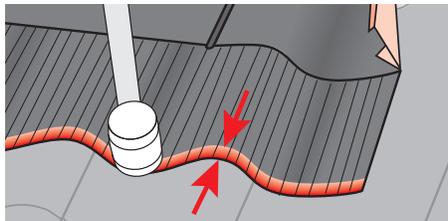
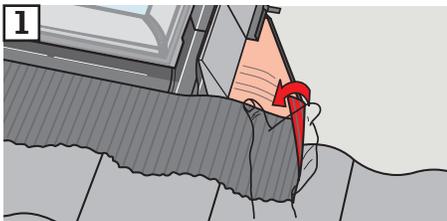


16

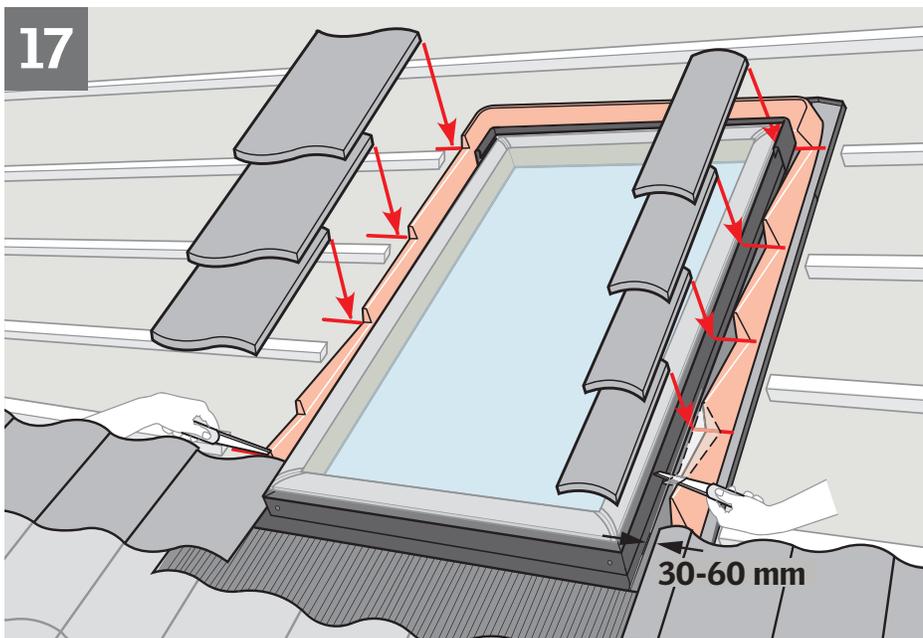


エプロン部の左右端を1cm 折り返して、できるだけ瓦とのすき間ができないように、瓦の起伏に合わせて、プラスチックハンマー等で入念に延ばして下さい。

1

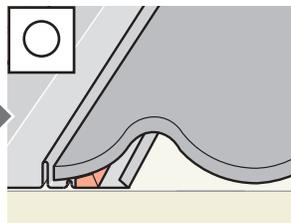
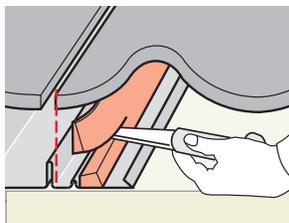
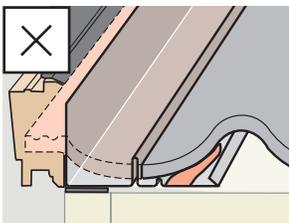
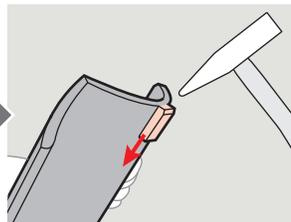
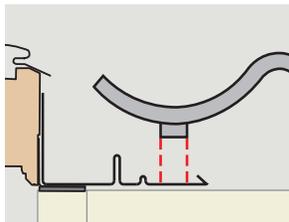
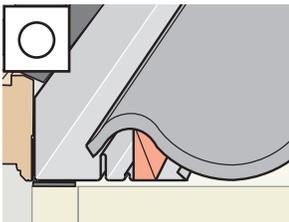


17

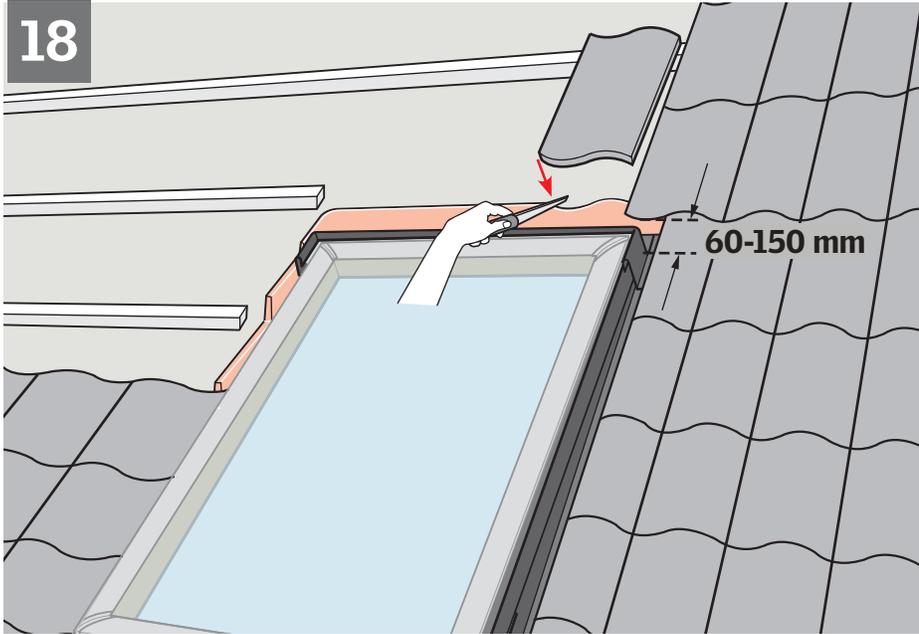


窓枠側部と側列の瓦とのすき間は30-60mm 開けて下さい。

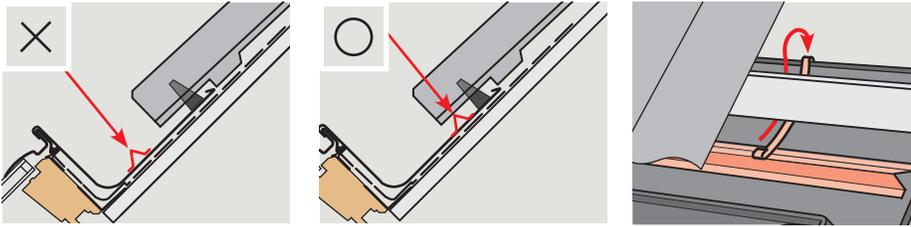
瓦をより安定させるために瓦の起伏に合わせて次のような加工を施して下さい。  
 a. ウレタンをカットして、瓦の高さに合わせる。  
 b. 幅の狭い瓦の場合、銅線で瓦棧に緊結して下さい。  
 c. 瓦のすぐ上のウレタンに切り込みを入れる。



18



上部水切りのウレタンを瓦の起伏に合わせてカットして下さい。  
上部水切りと天辺にくる瓦のすき間は60-150mm 開けて下さい。  
天辺にくる瓦が横の瓦と高さのバランスを崩さぬよう瓦サポートを瓦の下に合わせて下さい(下図)。



19

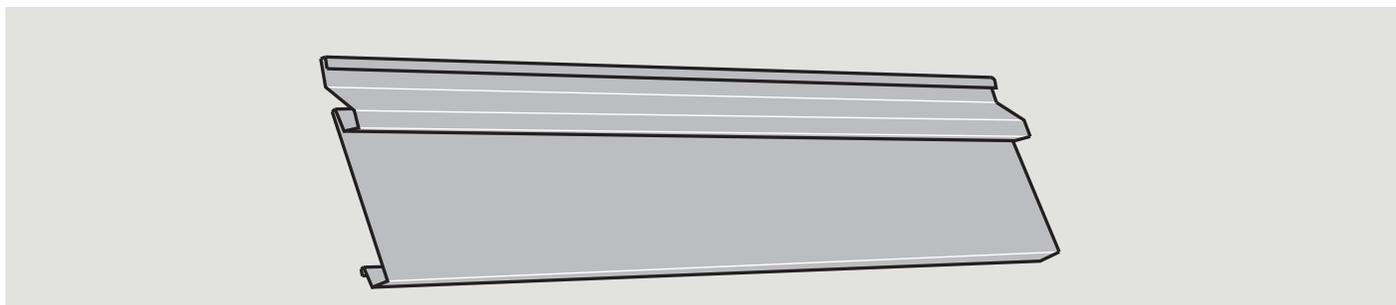




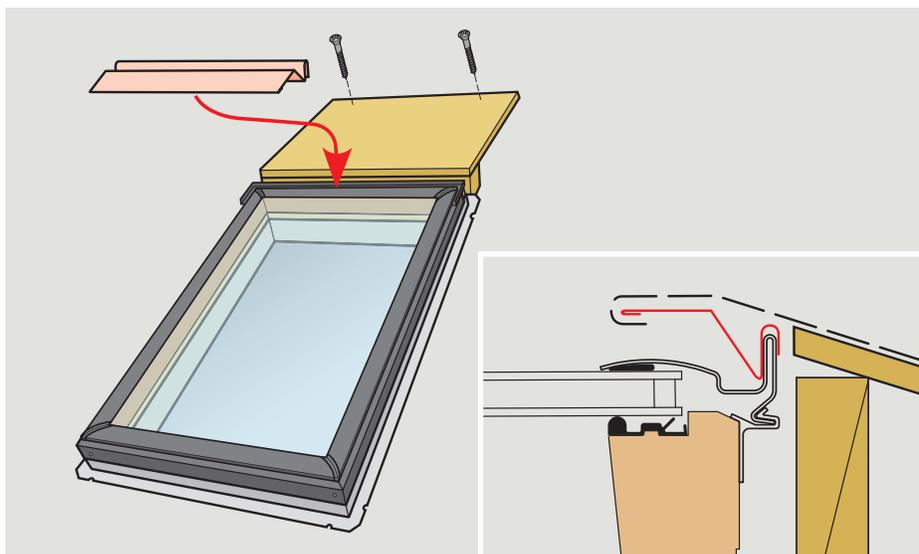
# 鋼板横葺き用取り付け説明書

・鋼板横葺き施工参考例 / 積雪地仕様

\*瓦棒・ステンレス・銅板等をご使用の際にも参考例として参照下さい。



## 多雪区域での施工上の注意



多雪区域では、建設地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窗上部や周辺部に雪が溜まらないように施工して下さい。

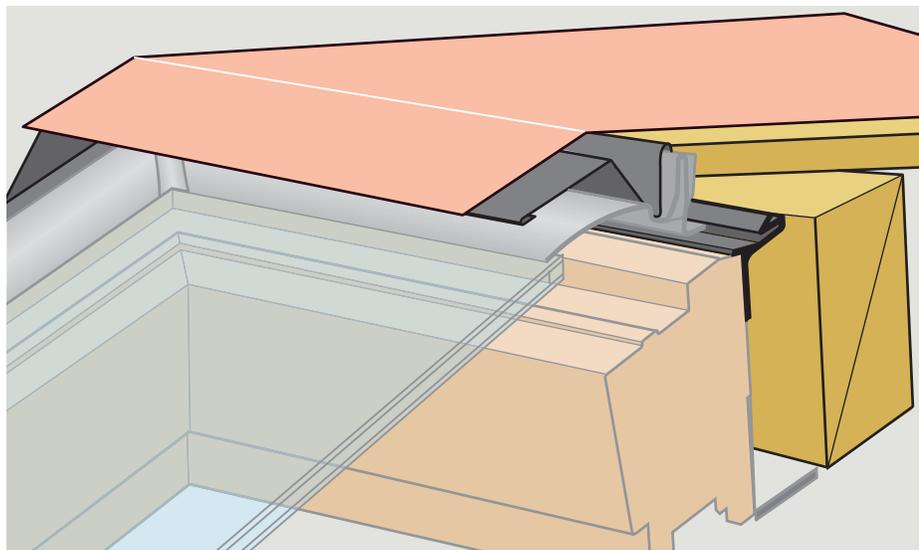
同区域の鋼板屋根には天窗上部にジャンプ台を施工して下さい。

- ・窓枠上部へ土台となる合板を貼ります。
- ・合板は十分な長さを取って下さい。(雪が溜まるので、逆勾配にしないで下さい。)
- ・付属のジャンプ台用アダプターを使用して下さい。

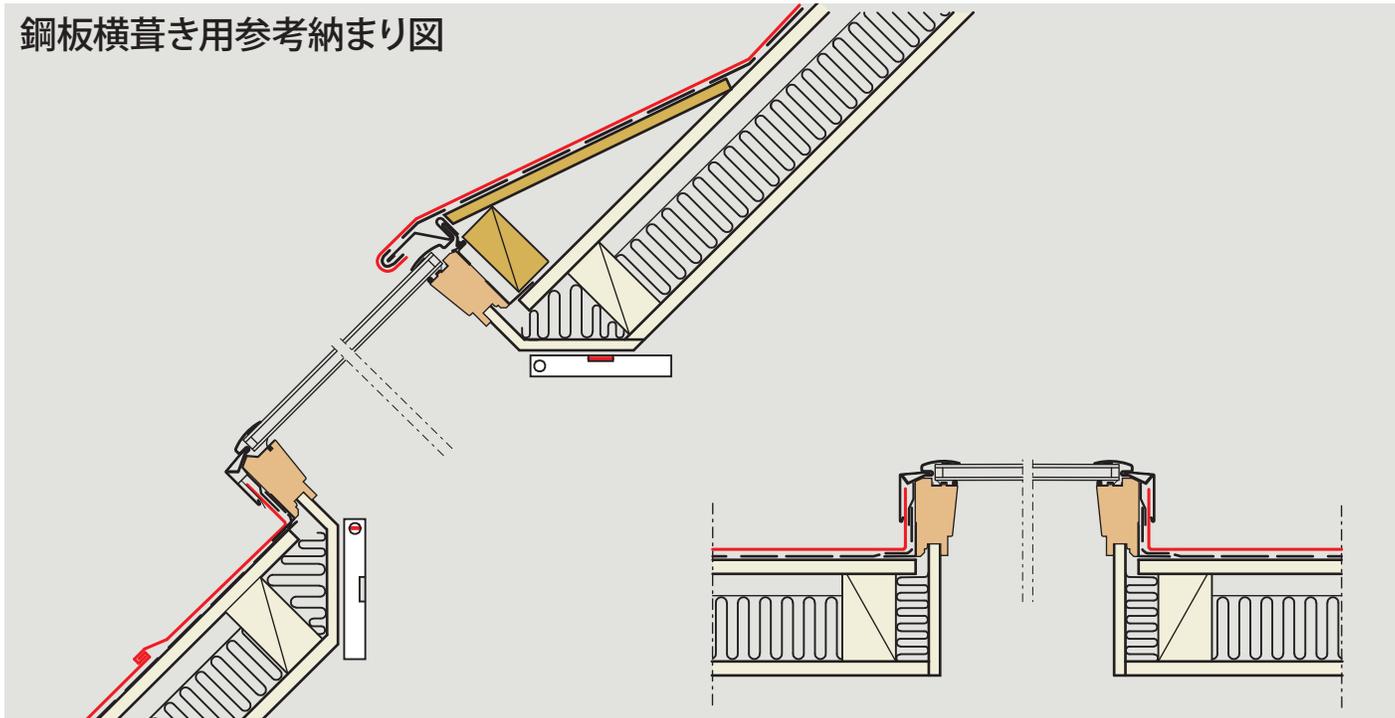
### 重要!

ジャンプ台の下地合板の天端とジャンプ台用アダプターの高さをそろえて下さい。

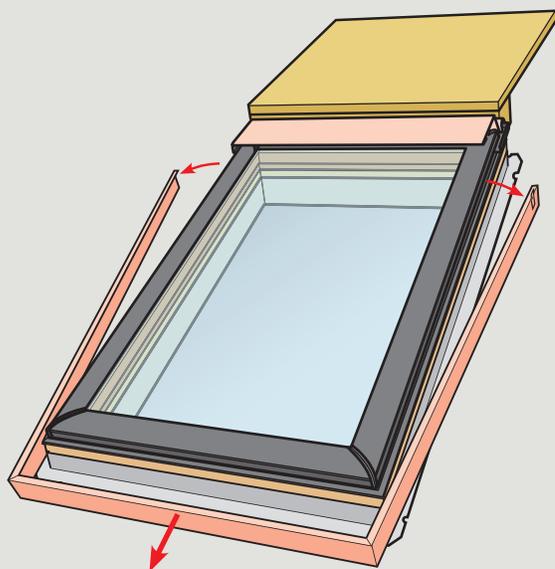
高さが合っていない場合や、ジャンプ台が無いと上部に雪が溜まり、スガ漏れ等クレームの原因になる場合があります。



## 鋼板横葺き用参考納まり図



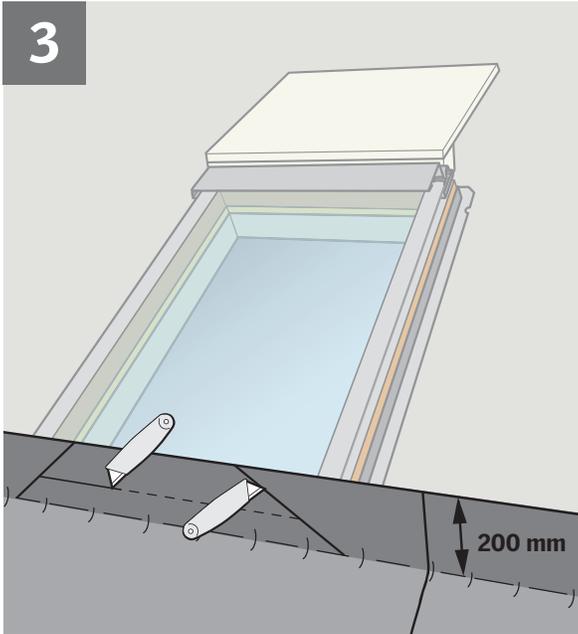
2



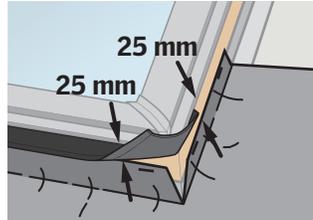
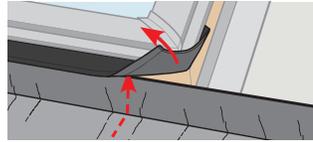
本体のアルミ外装板を、図のように上部を開いてから、下に引いて一旦取り外して下さい。  
後で戻すので、紛失、変形しないようご注意ください。

**注意!**  
左右と下部が一体型になっているので、そのまま外して下さい。  
下部コーナーのCONNECTINGプラグは外さないで下さい。

3



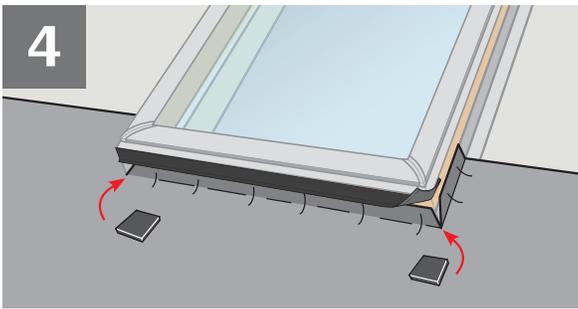
ルーフィングシートを本体上端より25mm下まで立ち上げます。(防水テープを貼るので25mm木枠を残して下さい。)左右のコーナーより内側に角度をつけてカットして、本体にタッカーで留めて下さい。



**重要!**

下部は、本体下部ゴムガasketをめぐって、ルーフィングシートを本体にタッカーで留めて下さい。

4

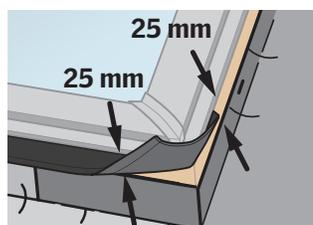
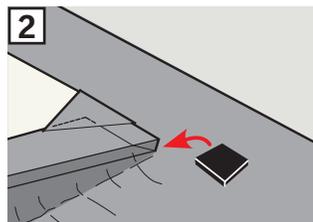
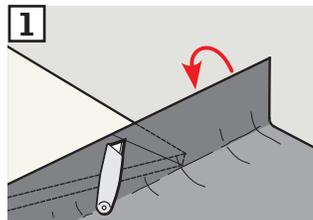
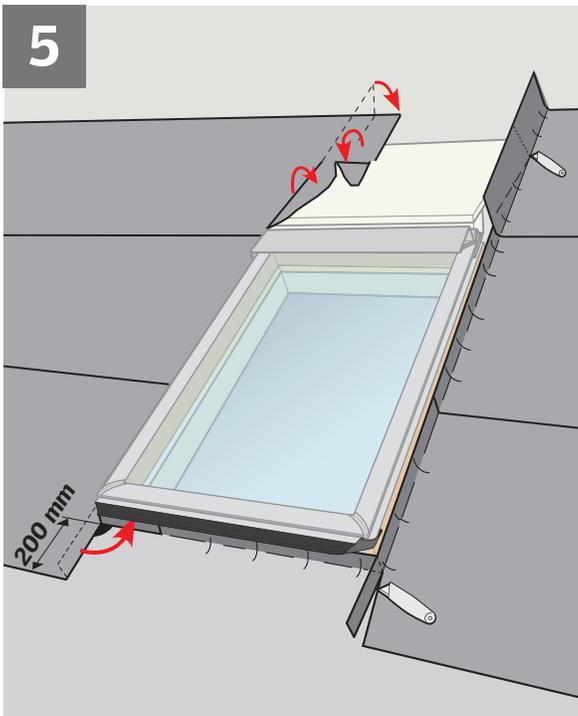


左右コーナーのピンホールを同梱のコーナープチルでふさいで下さい。

**注意!**

コーナープチルをルーフィングシートにしっかり接着して下さい。角部分もしっかり延ばして下さい。

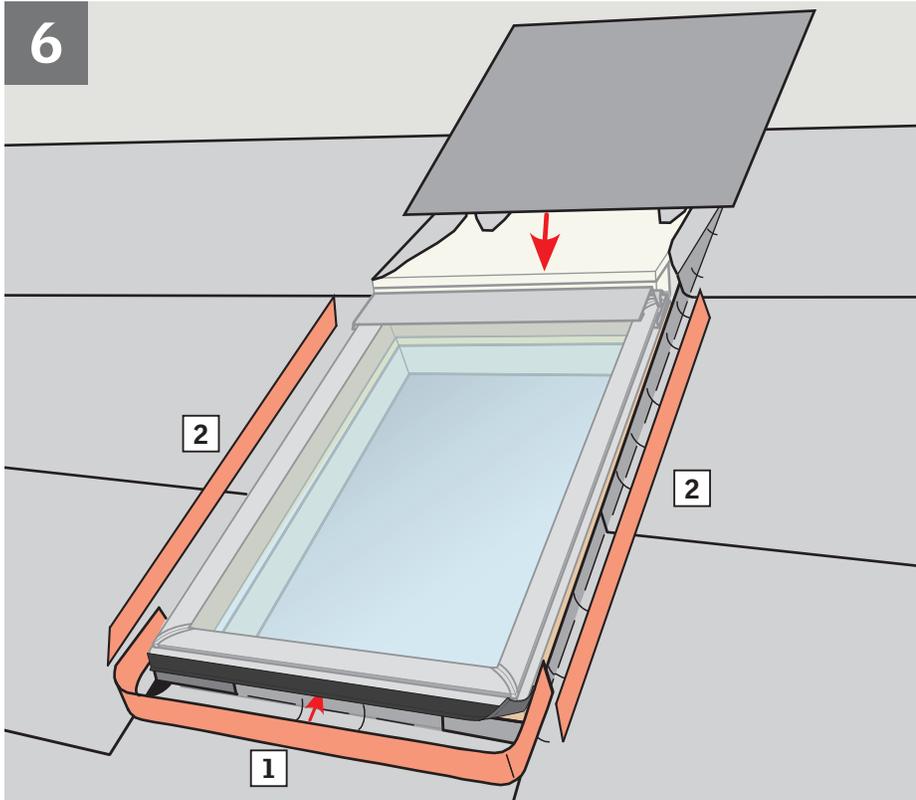
5



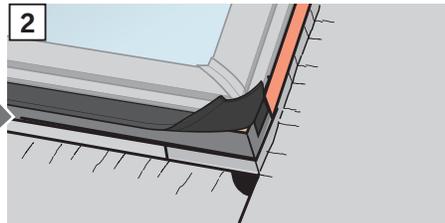
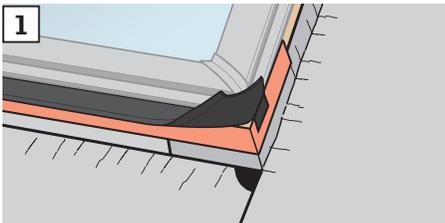
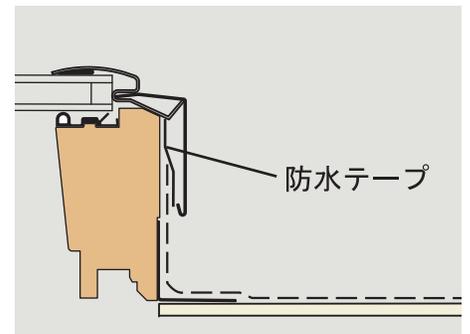
ルーフィングシートは、ジャンプ台の上部まで立ち上げ、角度をつけてカットして下さい。下部はまっすぐにカットして内側に折り曲げ、タッカーで留めて下さい。側部は本体上端より25mm下まで立ち上げて下さい。

ジャンプ台の上部コーナーは付属のコーナープチルでピンホールをふさいで下さい。

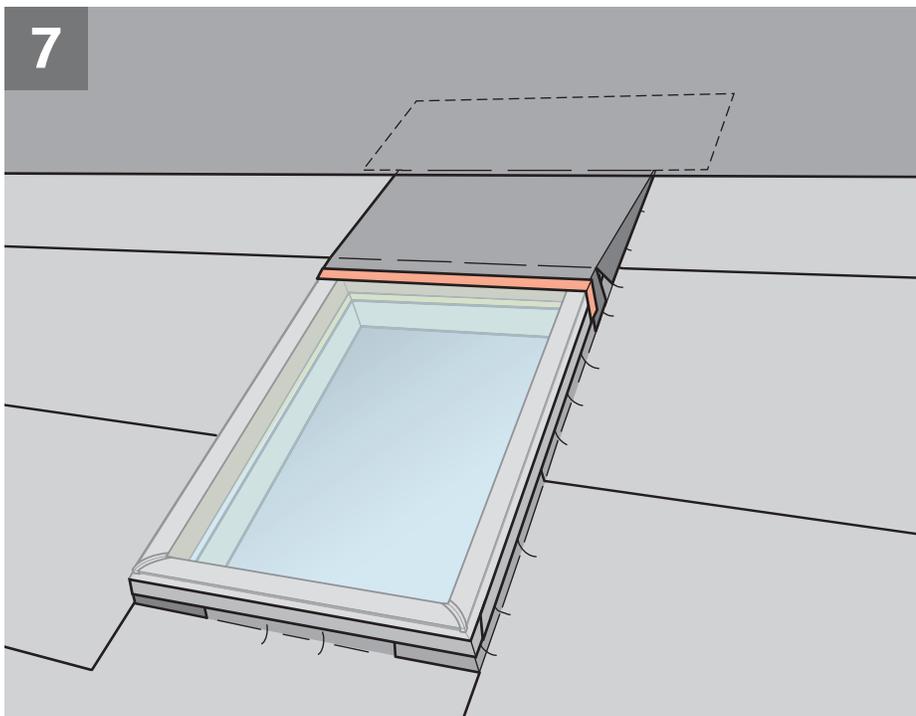
6



ルーフィングシートはジャンプ台の上部も被って下さい。  
重ねしろ及びルーフィングシートに切れ目のある箇所にはコーキングを打って下さい。  
下部ゴムガasketをめくり、ルーフィングシートと木枠を防水テープ(付属品)でしっかり密着して下さい(図1)。  
次に側部に防水テープを密着します(図2)。

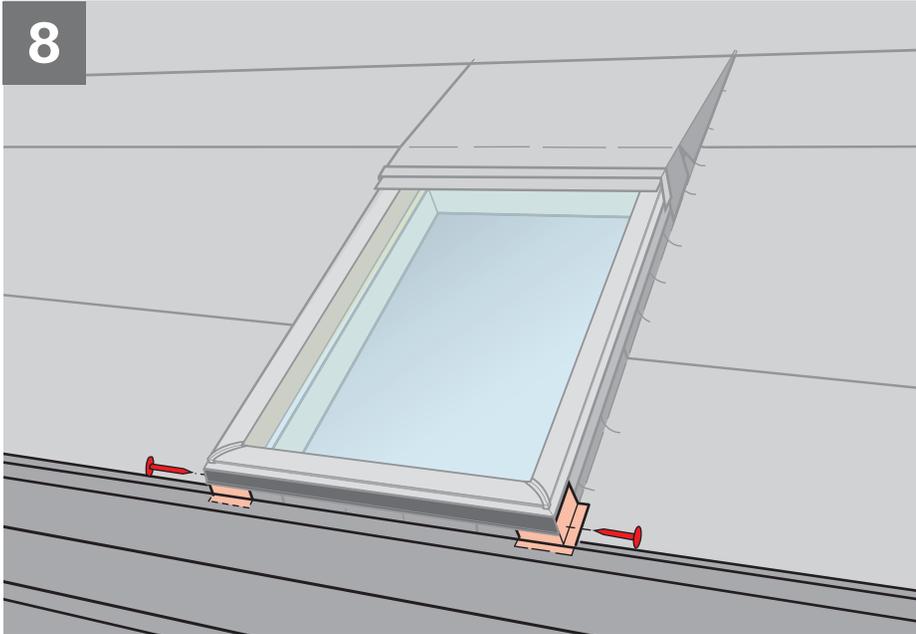


7



ジャンプ台上部を被いかぶせるようにルーフィングシートを貼って下さい。

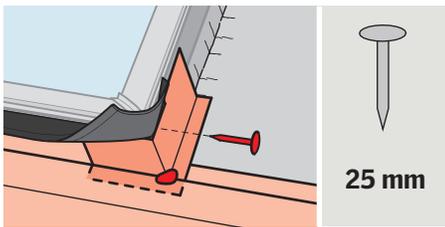
8



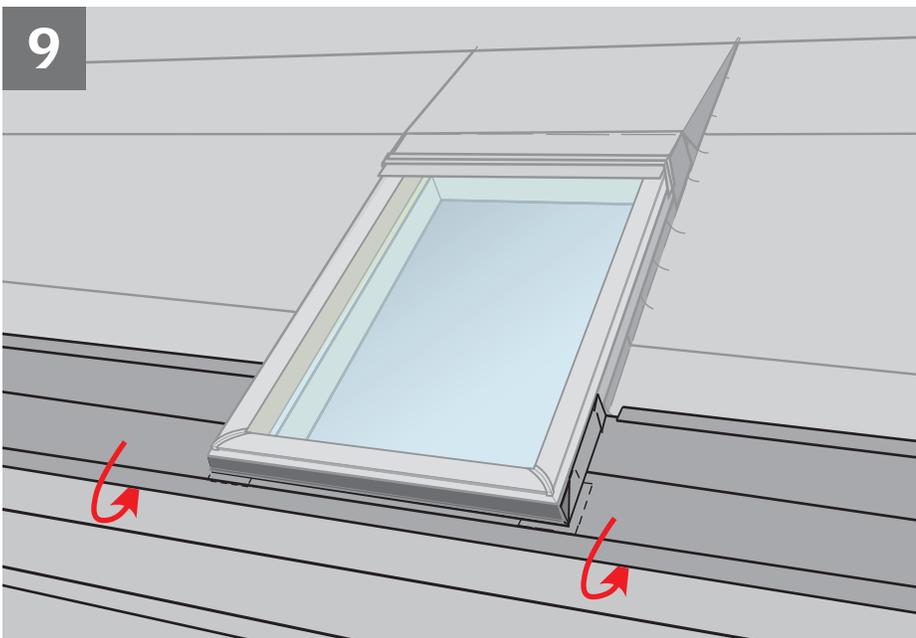
窓枠底部の両隅へ捨板を入れ、角部分にコーキングを打って下さい。

**注意!**

26mm以上の釘を使用すると、枠を貫通してガラスが割れる場合がありますのでご注意ください。

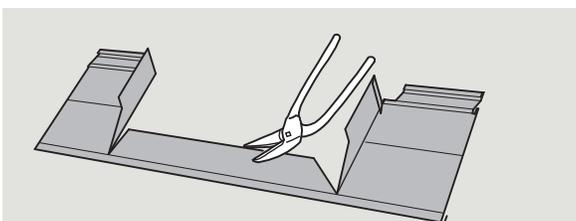


9

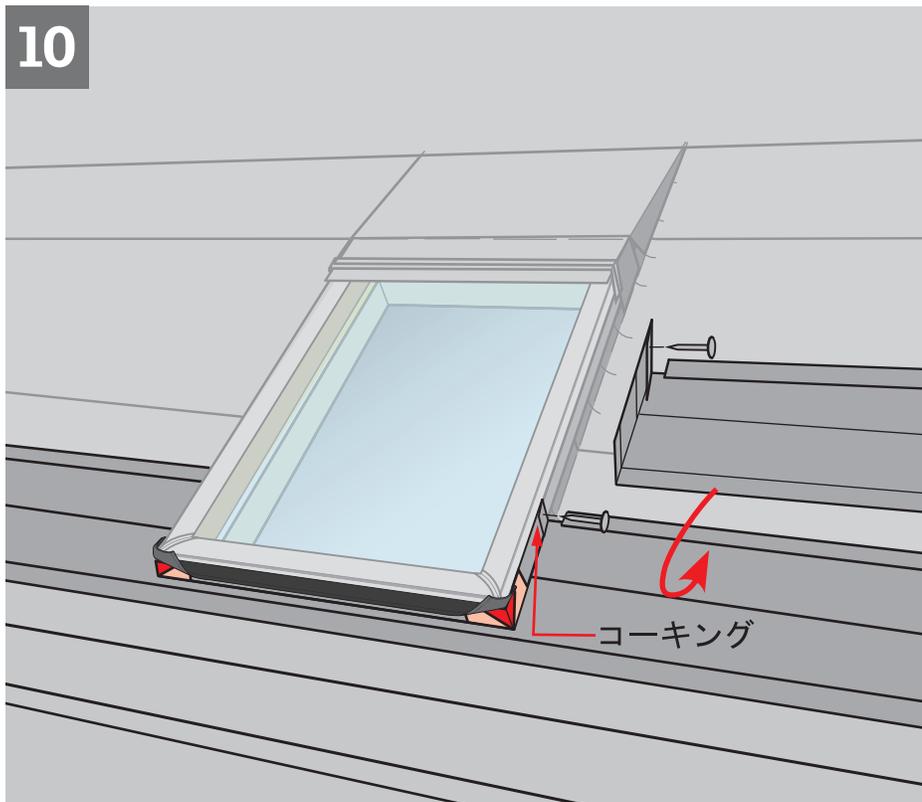


あらかじめ窓枠底部の形状に合わせて切り込みを入れた屋根材を図のように捨板の上に葺いて下さい。

尚、立ち上がりの高さを窓枠の天端の少し下に合わせて下さい。



10



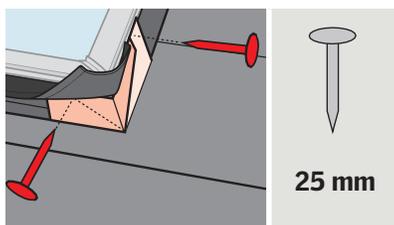
さらに底部の両隅へもう一度捨板を重ねます。  
 その際、側面は⑧で入れた捨板と⑨の屋根材の間へはさみ込みます。  
 また、底部は⑨の屋根材の外側から釘止めします。  
 側面の屋根材は、窓枠に沿って立ち上げ、本体に釘で固定して下さい。  
 尚、図のように次に来る屋根材とのかみ合わせ部分には、あらかじめコーキングを打ち、十分な防水をして下さい。

#### 重要!

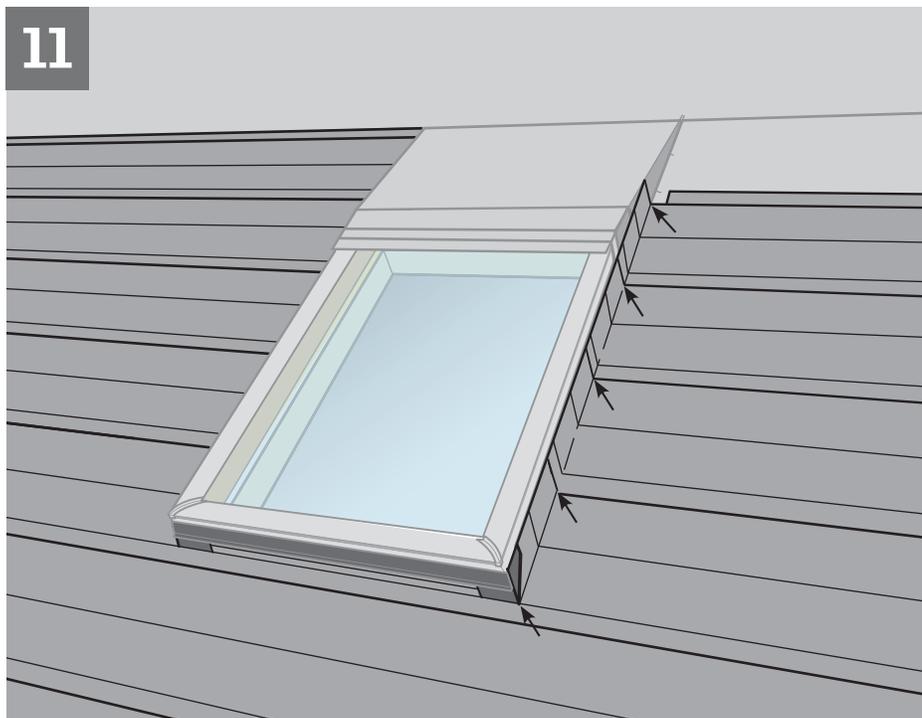
屋根材は左図のようにゴムガスケットをめくり、ガスケットの奥に納めて下さい。

#### 注意!

26mm以上の釘を使用すると、枠を貫通してガラスが割れる場合がありますのでご注意ください。

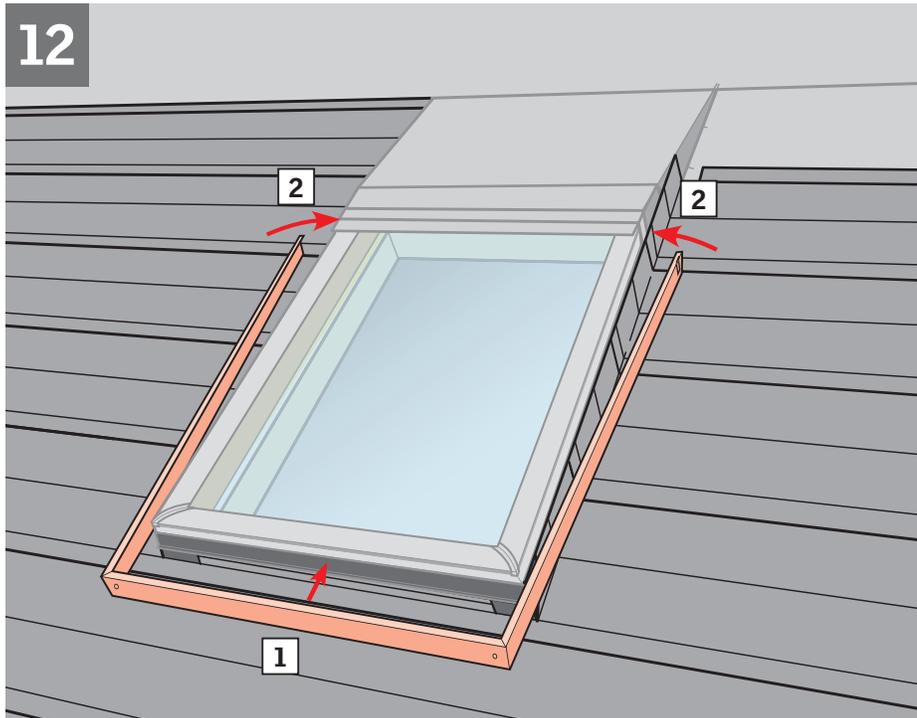


11



ジャンプ台横の下から1枚目のトタンは、窓枠の天端に合わせてカットします。  
 2枚目以降はつかみしろを残しておいて下さい。  
 次に、立ち上がりのかみ合わせ部分(矢印箇所)へ再度少量のコーキングを打って下さい。

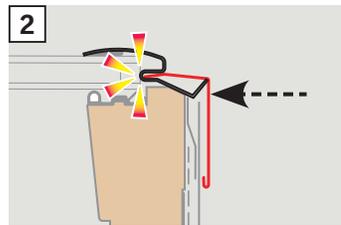
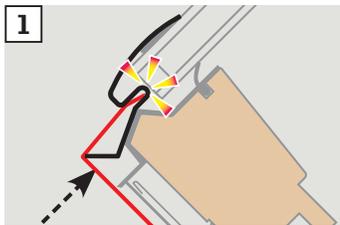
12



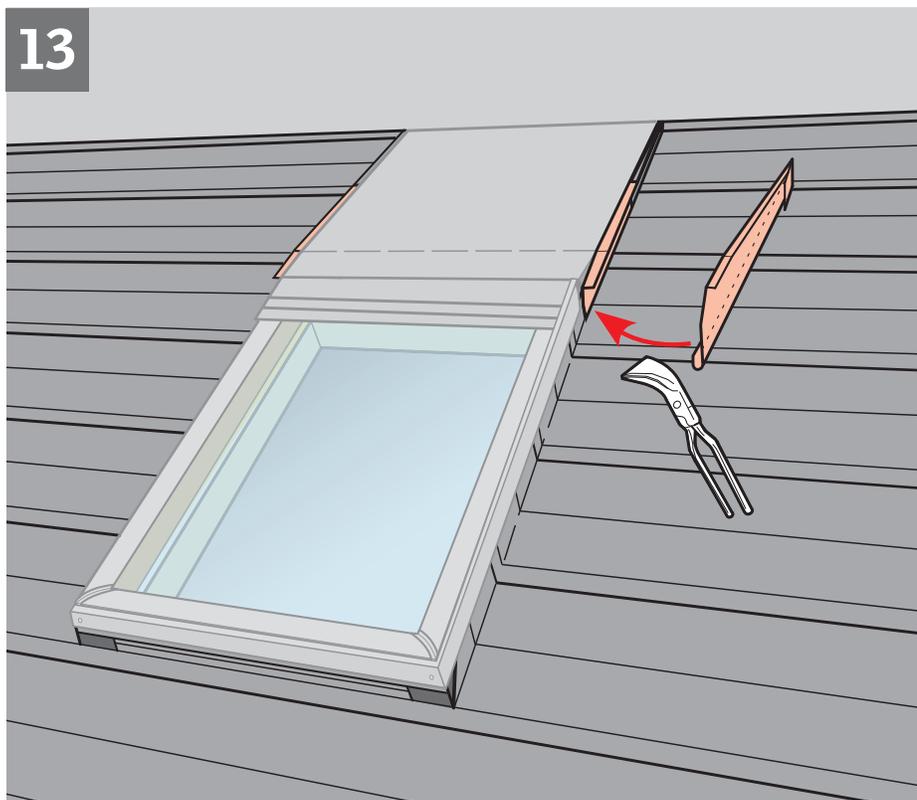
アルミ外装板を元の位置に取り付けて下さい。  
まず、アルミ外装板上部を図のように開き、下から差し込みます。

**重要!**

アルミ外装板は、下図を参考に下部→側部の順にしっかり差し込み、正しい位置に戻して下さい。



13



図のように3方向につかみしろを残し、カットした水切り板をジャンプ台側面に取り付け、⑫で取り付けしたアルミ外装板にはめ込んで周囲をしっかりと挟みつけ、完全にアルミ外装板をカバーします。

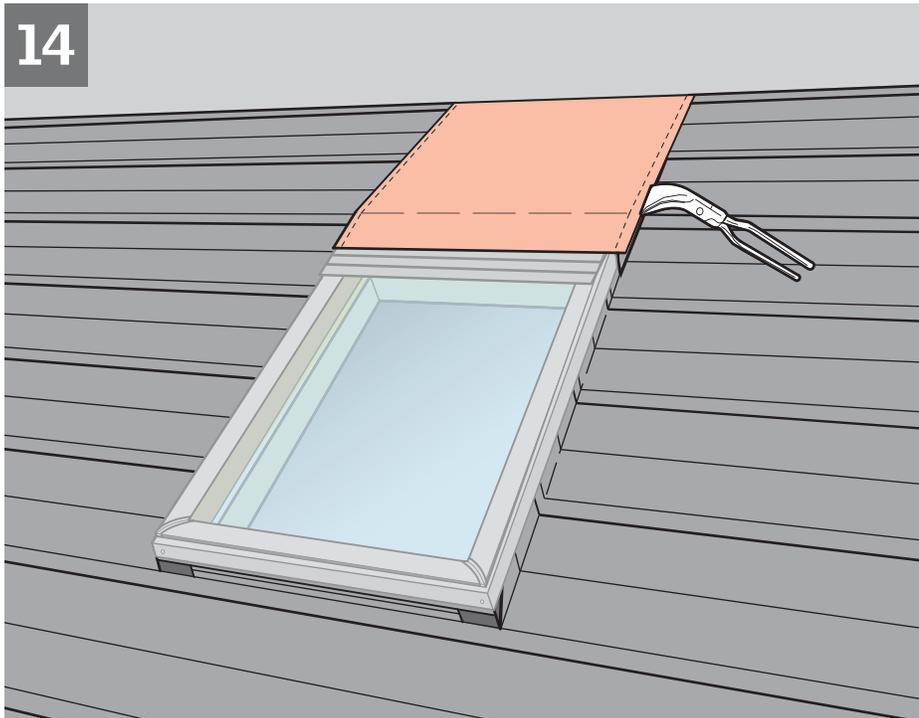
本体へは、アルミ外装板と一緒に釘で固定して下さい。

この水切り板を取り付けることにより側部アルミ外装板とトタンの立ち上げ部分にコーキングすることなくスッキリと納めることができます。

**注意!**

26mm以上の釘を使用すると、枠を貫通してガラスが割れる場合がありますのでご注意ください。

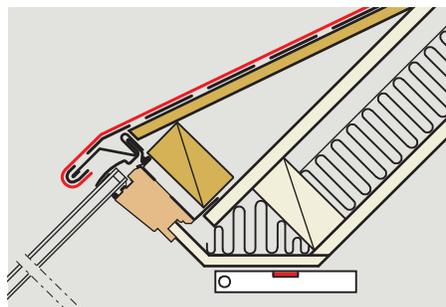
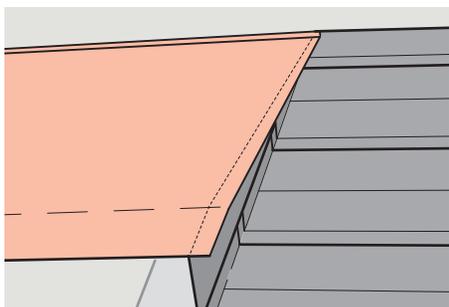
14



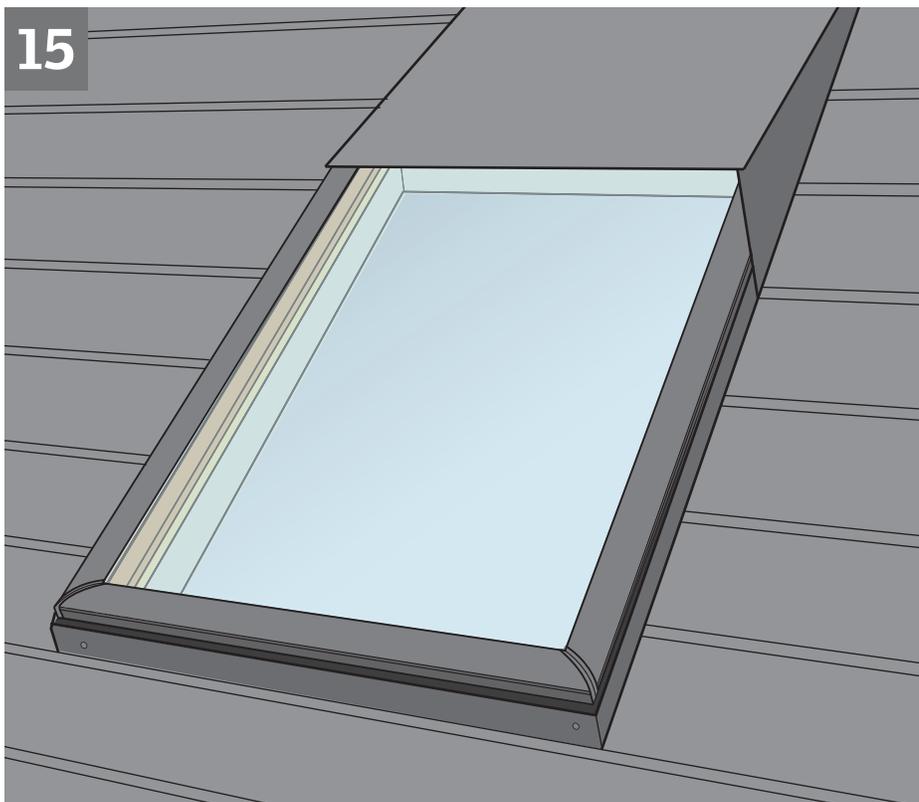
⑫、⑬で残したつかみしろ上部に天板の仮留めのために両面テープを貼ります。

次にジャンプ台の形状に合わせて加工した上部天板をかぶせます。

天板と側面は、⑫、⑬で残したつかみしろと一緒につかんで折り曲げます。



15





お問い合わせ先：日本ベルックス(株)



ナビダイヤル

**TEL:0570-00-8145**  
**FAX:0570-00-8146**

※市内通話料金でご利用頂けます。

◆ナビダイヤルに接続できない場合は  
TEL：03-3478-8145 FAX：03-3478-6879  
[www.velux.co.jp](http://www.velux.co.jp)